

皇朝史略便蒙

萩原正平訂正
飯田恭雄編輯

上

210.1

コ

上

萩原正平訂正
飯田恭雄編輯

皇朝史略便蒙全

版權免許明治九年六月
榮樹堂
出版明治十年十一月
文林堂藏版

皇朝史略便蒙序
彰考館。一代之儒林也。拙齋青山翁。
儒林之松栢也。尊々之識。命世之才。
該博之學。史之三德備焉。宜矣。其文
章縱橫。褒貶明確。使讀史者。胸襟豁
透。思想爽快。雖然。其熟字練句之間。
往々有不易解者。初學輩困焉。予常

謂讀史者不可先不識作史者之世紀。蓋文章從世紀而變者。不識作史者之世紀。而讀其史。猶不考時勢而論當時之英雄。幾其不憫笑于地下耶。龍門之史記。不似盧陵之五季史。作史者。夙異世紀也。三魏之論說。不同四明之序記。不同時而生也。我文

政天保之際。拙齋翁之史略。山陽氏之外史。竹山氏之逸史。相續刊出。而外史與逸史。異意同文。竹山陽據左氏。山陽陰寫司馬氏。逸史明贊德川氏。外史暗譏幕府。其意懸隔。然而其文脈則一耳。何也。同世而生。同時而出。文章之好尚。難以異意。故取捨向

背也。唯拙翁之史略。其意兼文。併異於二氏之史。蓋史略一書。出於大日本史。乃其書雖出于文政。其世紀則在西山公之盛時。觀瀾十竹盍簪之日矣。其文章則猶唐鑑之於涑水史矣。其意則勤王翼幕矣。是其所以三史同時而史略獨異。意異文也。其異

意異文。以異世紀也。既異世紀。則其熟字練句之間。往々有不易解者。不亦宜乎。拙翁豈故作不易解之字句者。彰考館風習。使之然爾。嗚呼。後之讀史者。可先不識作史者之世紀哉。頃日豆州人飯田恭雄氏。著皇朝史略便蒙。將所謂不易解之字句。壘粉

鎔解。使初學輩莫困焉之患。其志深切矣。刻成。徵予序。予言所雅言。以贅卷端。明治十年秋十月。平山陳平序於靜岡三省堂茶花微開窓下。



皇朝史略便蒙凡例

○此書編成ノ主トスル所ハ專ラ國史ヲ讀ムモノヲシテ本朝ノ典故ヲ詳ニシ名稱ノ讀例ヲ正シクセシメント欲スルニアリ故ニ本書所載朝典制刑ヨリ土地人名ニ至リ悉ク綜羅シ音訓ヲ附シ注解ヲ加フ庶幾クハ初學ノ徒此書ヲ國史ノ階梯トシテ堂ニ升リ室ニ入り遂ニ其蘊奧ヲ究ムルニ到ラン事ヲ

皇朝史略卷之八

○近者譯語字解ノ書陸續出ルト雖朝廷ノ典故
制度ノ沿革ニ至テハ未瞭然ナルモノナキヨ

以テ煩冗ヲ顧ミス之ヲ詳悉スルモノ多シ

○名稱讀例ハ概ネ古書ニ徵シ正説ニ據リテ之

ヲ正ス例ヘハ片鹽カタニハ地チ武智磨ムチマロ人ヒト大職冠ダイシキクワン冠カザリ朝所アサノミヤ

官ウチ版位ハシキ物モノノ如キミナ其因擾スル所アルノ類

ナリ

○地名ノ下ニ其國郡ヲ掲ケ人名ノ下ニ其父祖

ヲ加フルヲ例トセリト雖編成ノ際求索ヲ盡

スニ暇ナク闕如スルモノ少カラズ如此ノ類

異日増訂シテ其缺ヲ補フ可シ

○熟語ノ譯解ハ其書ニ乏シカラスト雖本書載

ル所ハ漏サス之ヲ採撫シテ注釋ヲ加ヘ專ラ

童蒙ニ便ス

○本書中往々其原書ニ因ラザレハ事義ノ明瞭

ナラザルモノアリ今繁擾ヲ厭ハス本文ヲ補

入シテ其事實ヲ誤認セシメザランヲ要ス

○本書文字ノ錯誤訓點ノ訛謬少シトセズ今正史ニ探リ實録ニ索メテ反復訂正ヲ加フ等閑ニ看過スル勿レ

○本書大日本史ニ基キテ編成セルモノ多キヲ以テカノ史ノ謬錯アルヤ隨テ誤レルモノアリ譬ヘバ聖武帝ノ御諱ヲ美麻斯ト為シ欽明帝ノ條中臣鎌子ヲ勝海ト記セルノ類也イマ

漏サス掲出シテ其謬ヲ正ス

○假字用格ハ屢校合セリト雖文字ノ數多ナル音訓ノ煩雜ナル能盡ス所ニ非ズ宜シク看官ノ誤正ヲ乞フ

○此書昨明治九年既ニ稿ノ半ヲ脱セルガ病痾ニ罹リテ暫ラク業ヲ廢シ今年再ビ筆ヲ執ルニ到リ更ニ前稿ヲ訂正スルニ遑ナク忍卒削剝ニ附スルヲ以テ前後文字ノ重複セル事義

トヨムハ ○天津彦彦火瓊瓊杵尊 ○八坂

非ナリ ○天叢雲劍 ○八咫鏡 以上三種ノ神器ト云フ

降 高天原ヨリ降 ○日向高千穗峰 大隅國 噌唖郡 ○大

山祇 山神 ○木華開邪姬 ○海神 ○豐玉彦

○豐玉姬 ○彦波瀲武鸕鷀州葺不合尊

帝ノ御 ○第四子 第一五瀬命次ニ稻飯命次ニ ○玉依

姫 ○明達 紀ニ生而明達 ○高千穗宮 ○長髓

彦 ○饒速日命 ○兄猾 ウケシトヨムハ非ナリ ○弟猾

○八十梟師 ○兄磯城 ○弟磯城 ○不相

統 一紀ニ各自疆ヲ分 ○吉備國 今ノ備前備中備後ナリ ○行宮

天子行幸所 ○舟楫 ○蓄兵食 兵食ハ兵 ○浪速

イハエニル浪華ナリ攝津國東成郡 ○勒兵 器兵也トアリ紀ニツハモ ○

龍田 大和郡 ○險隘 ○膽駒山 河内郡大和 ○中州

ウナツタニト訓 ○徽 音邊 遠也 ○孔舎衛坂 衛ノ御

内陸河内郡 ○五瀬命 ○流矢 ○日神 スナハ

大神 ○不祥 紀ニ逆天道 ○名草戸畔 人名 ○

狹野マカゼ ○抵ヒコリ ○熊野ヒコリ 上同 ○絶ヒコリ ○暴風ヒコリ 絶ニア

ト訓ハ ○漂蕩ヒコリ ○稻飯命ヒコリ ○三毛入野命ヒコリ ○

憤恚ヒコリ 怒也 ○投ヒコリ ○手研耳命ヒコリ ○荒坂津ヒコリ 漏

郡 ○丹敷戸畔ヒコリ 名人 ○菟田ヒコリ 宇陀郡 ○納款ヒコリ 誠

也降參ヒコリ フ云ヒ ○國見岳ヒコリ 伊勢伊賀二國 ○墨坂ヒコリ

郡 ○奠ヒコリ 定也 ○道臣命ヒコリ 天忍日命 四世之孫 ○来目部ヒコリ

部ヒコリ フ云 ○護衛ヒコリ ○日臣命ヒコリ ○險絶ヒコリ ○前進ヒコリ ○

披榛ヒコリ 木ヲ伐テ行テ啓 ○下縣ヒコリ ○可美真手ヒコリ ○

天瑞寶ヒコリ 澳津鏡邊津鏡ハ握鏡出玉匙玉死及玉並及玉 蛇比禮蟬比禮品物比禮以上十種ノ神寶ト云

○寵異ヒコリ ナル寵愛 ○天物部ヒコリ 兵七ノ部名 ○豎ヒコリ

神盾ヒコリ 解ノ名 ○布都主神劍ヒコリ ○鎮祭ヒコリ 紀ノ説

故ニ解ヒコリ フ ○宿衛ヒコリ 水書侍近宿トアリ ○足尼ヒコリ 此説附會ニ

高倉下ヒコリ ○妖神ヒコリ ○迷倒ヒコリ ○夢ヒコリ ○武甕雷神ヒコリ

○擾亂ヒコリ ○平國之劍ヒコリ 國土ヲ平定 ○自平ヒコリ ○

部靈ヒコリ 後ニ石上神 ○群兕ヒコリ ○推根津彦ヒコリ ○國ヒコリ

造ヒコリ 國造ハ地方ノ長ニテ國司 如シ唯世襲ヲ異トス ○猛田縣主ヒコリ 猛田ハ

造ノ小ナル者
○速吸門豊後
○珍彦ヒコ
○梗塞カウ

郷導キョウドウ
○據守險要シキヤウ
○天香山テンカウサン
○天平瓮テイヘイウヅ
○嚴瓮イッペン
○充塞チウソク
○羸レイ

○天香山テンカウサン
○天平瓮テイヘイウヅ
○嚴瓮イッペン
○充塞チウソク
○羸レイ

神祇ジンギ
○會クワイ
○協キョウ
○克キツク
○羸レイ

服フク
微行ビキョウ
○八十平瓮ヤソヒラウヅ
○丹生川上ニハナカミ
○皇クワウ

郡クニ
○時ジ
○鳥見山トミヤマ
○腋上アキミ
○銜尾ケンビ

祖天神ソテンジン
○腋上アキミ
○銜尾ケンビ

美哉國也ミカイクニ
○蜻蛉アキツ
○銜尾ケンビ

皇太子クワウタイ
○秋津洲アキツ
○皇子クワウジ
○神渟川耳尊カヌナガハ

皇太子クワウタイ
○秋津洲アキツ
○皇子クワウジ
○神渟川耳尊カヌナガハ

綏靖天皇スヰセイテンノウ

神武帝第三子ジンムヒダイサイサン
○母ハハ

媛ヒメ
○天姿テンサ

岐嶷キギ
○沉毅チンキ

武技ブキ
○諒闇リョウアン
○委ウチ

○武技ブキ
○諒闇リョウアン
○委ウチ

スル ○ 庶務 ○ 典 ○ 樞機 肝要ナル政 ○ 威

ナリ 福由己 紀ニ威福自 ○ 圖不 軋 事ヲ云フ ○ 山

陵事 御葬式ノミ ○ 窟室 ○ 排闥 トヒラク ○ 戦

慄 ○ 殪 ○ 葛城 高丘宮 葛上郡 ○ 磯城津彦

玉手看尊

三代 安寧天皇

五十鈴依媛皇后 事代主ノ神ノ少女也 ○ 片鹽浮穴宮

大日本彦耜友尊

四代 懿德天皇

安寧帝第二子 第一 鮮石耳命 次ニ帝ナリ ○ 淳名底仲媛

皇后 事代主ノ神ノ孫 鷲玉之女也 ○ 輕曲峽宮 高市郡 ○ 觀松

彦香殖稻尊

五代 孝昭天皇

天豐津媛皇后 鮮石耳命ノ姫ナリ ○ 掖上池心宮 葛上郡

日本足彦國押人尊

六代 孝安天皇

孝昭カウシウ帝テイ第二子ニシ 第一天子 尊ミコト 押オシ 世襲足媛セウシヤクソクヒメ

皇后クウゴウ 天子之妹 ○室秋津嶋宮ムロアキツシマミヤ 郡 尊ミコト 上カミ ○大日本オホヤマト

根子彦太瓊尊ネノヒコタニミコト

七代 孝靈天皇カウレイテンノウ

押媛皇后オシヒメクウゴウ 天子之妹 ○黑田廬戸宮クロダイホミヤ 郡 下シモ ○

彦國牽尊ヒコクニキムミコト

八代 孝元天皇カウゲンテンノウ

細媛皇后ホソヒメクウゴウ 磯城縣 上カミ ○輕境原宮カゲサキハラミヤ 郡 高市タカシ ○稚ワカ

日本根子彦大日日尊ヤマトネノヒコオホヒツヒツミコト

九代 開化天皇カイケイツウ

孝元帝第二子カウゲンテイニシ 第一天子 尊ミコト ○爵色謎皇后ウケシロミソククウゴウ

命ミコト 妹イモ ○春日率川宮カスガノイハツガハミヤ 郡 漆上シキカミ ○御間城入彦ミマノキリヒコ

尊ミコト

十代 崇神天皇スガノミコ

開化帝第二子カイケイツウニシ 第一天子 尊ミコト ○伊香色謎イカシロミソク

皇后クウゴウ 大綜麻栲 ○聰敏ソウミン ○雄略ユウリョク ○寬弘カンクワ ○謹キン

慎○有經綸大業之志紀二有經綸天○磯城紀二有經綸天

瑞籬宮郡城上○倭笠縫十市稱十市新水二村○

寶鏡所謂ハ○皇孫皇孫○瀆瀆○靈劍靈劍○

豐鍬入姫母ハ荒瀬カ○更造鏡劍別ニ鏡

造ス也○淳名城入姫母ハ尾弼○大國魂神○

疾疫○神淺第原城上○卜卜○班幣班幣

○大物主神○伊香色雄箭色雄命○

物者神ニ○大田田根子大物主神○

長尾市珍彦○天社國社天社地祇○神地

神戶社地神○大彦命孝元帝○武渟川別大彦

命命○吉備津彦命孝靈帝○丹波道主命

開化帝ノ孫參對王ノ子○印綬印綬○將軍將軍○武埴安彦武埴

帝帝○反反○襲襲○彦國葺彦國葺○威德威德

威德威德○救人民人別ヲ○調役紀ニ

女之乎調トアリ○船舶船舶○活目尊活目尊○豐城命帝ノ弟

毛野君毛野君○任那國今轄難國○蕪那曷曷知

人朝貢朝貢三ツギモ ○筑柴筑柴九州ヲ云フ ○雞

林林羅也三 ○崇重崇重一 ○家給人足家給人足蓄息ヲ云フ

御肇國天皇御肇國天皇興天ヲ奠始之意也

茂 垂仁天皇

崇神帝崇神帝第一豐城入彥命次二崇五十狹精 第三子第三子第二次二帝始即入彥五十狹精

御間城姫御間城姫天孫命之女 皇后皇后人並ニ聯レタ 周儻周儻人並ニ聯レタ

大度大度オホヒナル ○鐘愛鐘愛愛スルヲ云 ○有蓋

沐浴沐浴 ○御諸山御諸山城上 ○弄槍者弄槍者

擊刀者擊刀者 ○擊劍擊劍 ○纏纏張 ○咏咏也 ○纏向

珠城宮珠城宮城上 ○新羅王新羅王 子天日槍子天日槍 ○歸化

所齋寶物所齋寶物羽太孫足高玉鷄鹿公赤 ○所齋寶物所齋寶物石玉出石小刀出石鑿

出石出石 ○社社 ○狹狹 ○穗穗 ○子子

網田網田豐城入彥命之男 ○母兄母兄同母兄也 ○寵寵 ○弛弛 ○寵愛

首首 ○來目來目高宮 ○高宮高宮 ○郡郡

不禁不禁 ○匹頸匹頸 ○祥祥 ○煉煉 ○懼懼

莅莅 ○野見宿禰野見宿禰 ○裔裔 ○當麻蹶速當麻蹶速 ○脊脊

力絶人 ○ 誇 ○ 抗 ○ 對 ○ 角力 ○ 踢 ○

骨 ○ 斃 ○ 倭姫 ○ 齋宮 ○ 五十鈴川 ○

上 紀二隨大神教 立其祠於伊勢國 祭幣 神祭ノ

倭彦命 母ハ禰 城姫 ○ 殉 以テ入從ラ 哀號 ○

側 ○ 土 偶 所謂土人形也 紀 土 部 職 出禮ヲ掌

○ 土 部 連 ○ 大 喪 御葬 ○ 灌 漑 田ニ水ヲ引

殷富 ○ 田道間守 天之橋 非時香菓 令

○ 常世國 淵外絶遠 ○ 伏見陵 漆下 ○

慟哭 ○ 傷腕

十代 景行天皇

垂仁帝 第三子 第一譽津別命次ニ五十瓊敷 ○ 日

葉酢媛皇后 丹波道主 容貌雄偉 ○ 儲位

太子 位 ○ 纏向日代宮 城上 ○ 熊襲 名國 ○ 車

駕親征 齋歸ヲ征伐ニ 高屋宮 大隅國 羊

寮 群官 ○ 市乾鹿文 ○ 市鹿文 ○ 嚼 工バニ

○ 重幣 〇モキオ ○ 誘納 〇ビキ ○ 醇酒 ○

襲國

熊襲

○丹裳小野

日向國 兒湯郡

○思邦歌

○葦北

肥後國 葦北郡

○八代縣豐村

肥後國 八代郡

○武

内宿禰

考元帝孫父ハ屋基忍男武 雄心命母ハ菟道彦女景媛

○日高見

國

蝦夷地

○推結

髪ヲアゲテ推實ノ形ノ如ク 髪ヲアゲテ推推ニ作ルハ非

○文

身

身ニホリモ

○勇悍

○膏沃

地ヲ云フ

○蝦

夷 ○日本武尊

初名小碓母ハ 稱曰大碓如

○弟彦公 ○石

占横立

○田子稻置

○乳近稻置

○取石

鹿文

○被髮

○裊

○戲

○狎

○賊

被酒

サケニ

○未殊

未シニキ

○日本童男

醜類

賊ノ同類

○吉備武彦

稚武彦

○大伴武

日道

命

○鑽燂

○挺劍

○草薙劍

後尾張 國熱田

神宮

○殲

ミナコロシ

○燒津

益頭

○覆没

○妃

○橋媛

忍山宿 禰之女

○贖

○賊酋

酋長

能褒野

鎧鹿

○奏捷

カチイクサ

○悼惜

定武部

尊ノ御名ヲ傳フル 爲ニ此部ヲ置ル也

○稚足彦尊

○棟

梁臣

官名ニ非ス功臣

○彦狹島王

豐城命之孫

都督トク總督ソウナリ ○ 御諸別王ミヤノ ○ 襲オツ ○ 志賀高穴シカガキ

穗宮ホノミヤ志賀郡

三代 成務天皇セイム

景行帝ケイカウ第四子シ 第一第一 櫛解別王シトク 第二第二 大碓皇子オホツツノミコ 第三第三 小碓皇子コツツノミコ 第四第四 稚足ニギハヤヒ 彦ヒコ ○ 八ヤ

坂入サカイリ 皇后クワノ 皇子ミコ 之ノ 女メ ○ 百僚ヒヤクリョウ ○ 戲游イユウ ○ 造ソウ

長ナガ 國クニ 造ソウ ○ 稻置イナギ 縣ノ 邑ノ 長ナリ ○ 姪シ ○ 足仲彦タラシハカツヒコ

十代 仲哀天皇ナカウラ

日本武尊ヤマト 第二子ニシ 第一第一 稻依別王イナヨ 第二第二 帝也 ○ 兩道入フタミチ 姫ヒメ

垂仁帝タケノミ 之皇女ノミコノメ ○ 端正テイセイ ○ 大伴武オホトモ 以武モチ 日ヒ ○ 北城キタシロ 御ミ 墓ツツミ

所 ○ 明表アキラカ 淨衣ソウイ ○ 倭琴彈原ヤマトノハ 葛上カヅノ ○ 舊市フル 市チ

邑ノ 郡ノ 市ノ ○ 角鹿ツカ 越前エチゴ 郡ノ ○ 笥飯宮ケイイ 敦賀ツツミ 郡ノ ○ 穴アナ

門ノ 長門ナガト ○ 豐浦宮トヨウ 豐浦トヨウ 郡ノ ○ 憑ヨシ 神ノ 云フ ○ 檀カレ

日宮ヒノ 苑前エン 國クニ ○ 師旅シ ○ 曠遠クワウ ○ 祭告サイ 事ノ 祭ノ 祀ノ 時ノ

テ神ノ 告ノ ○ 中臣ナカ 鳥賊津トウ 命ノ 之ノ 商ノ ○ 大三輪オホ 輪リン

大友オホトモ 主ノ 大田オホ 田根タネ 命ノ 之後ノ ○ 物部モノ 膽咋タン 美真ミマ ○ 梓シ

宮ノ 天ノ 子ノ ○ 殯シ 柩ノ 斂ノ ○ 齋戒サイ 戒ノ

鴨別吉備臣之祖 ○練兵甲兵士ヲ ○丈夫装マヌラ

○斧鉞マツノ ○三軍天予ノ ○有身アリハラク

免於茲土此土ニテ此産アラ ○和珥津對馬國

○大魚夾船大魚船ヲ其テ行クヲ云記 ○風順

船迅 ○擄擻 ○怒漲 ○溢 ○波沙寐錦 ○

惶遽 ○尚縛紀ニ紮組而縛トアリ ○封府

庫 ○收圖籍地圖戶籍也 ○波珍干岐微叱

已知知名人 ○算入算ヲ ○金銀彩色綾羅縑

絹 ○定額キマリ ○高麗三韓 ○百濟同上

望風歸降ヤウスヲミテ降 ○官司ヤクシヨ

振旅勢ゾロヒヲスルヲ ○蚊田筑前國

○

○

○

○

○

十代

應神天皇

仲哀帝第四子

第一薨坂王第二忍熊王第三品夜和氣命第四帝大靴和氣命一名品陀和

氣長足姫皇后

氣長宿禰 聰達

玄鑒 玄ハ幽遠也鑒ハ視也ハル

深遠 動容 進止

聖表有異 在孕

腕止 肉起 鞞

雄裝 譽田 胎中 薨坂忍熊二王

母ハ彦人大姫 要待ブセス 叱 菟路

日高 小竹宮 晦暝

皇太后 天子ノ御母 臨朝

攝政 繁余稚櫻宮

葛城襲津彦 千

熊長彦 荒田別 鹿我別

久氏 比自炊 南加羅 咏

安羅 卓淳 加羅 南

蠻 ○枕彌多禮 ○神功皇后 ○輕島明宮

高村郡ニアリ ○東蝦夷 ○厩坂 郡 高村 ○枕流

卒 五位以上 死ラ日卒 ○阿花 ○叔父 ○辰斯 ○纂

立 ○紀角 武内宿禰ノ子 ○羽田矢代 ○蕪我石川

○平群木菟 同上 ○謝 伊ヒワカ ○海人 心海

部ナリ海ヲ云 ○山守部 部ヲ云 ○輕疾 ○枯

野 ○朽壤 クチツコ ○毀 コハス ○焦餘 モエグ

○領 ○韓人池 ○巡察 巡 見 ○甘美内

宿禰 母ハ鸕鷀高 ○譜 譜ナリ ○據 据ダマリ

真根子 壹岐 ○詣 詣自 明 朝 野ニ至リ 罪ナキ

鞠訊 鞠 究也 誠問也 云 ○探 湯 熱 湯ヲ探ルヲ云

○磯城川濱 郡 城上 ○質情偽 於神祇 湯 探

正 神祇ニ窺ヒ 真偽ヲ ○服 罪 罪ニオ 佩 刀

毆之 踏地 ○特釋之 ○紀伊直等之祖 ○

孛 ○功滿王 ○弓月君 ○歸化 其 隣人ヲ 率 并

也 請 ○貢 ○縫衣女 ○阿直岐 ○經典

○博士學者ノ稱也フミ
○王仁者ナルモノト訓ムハカナナハズ

○秀又キ此タル者
○荒田別前ニ出ツ紀ニ荒田別巫別ニ作ル
○徵古クシ

治工鍛冶チリ今云カデノ事
○吳服吳國ノハタ
○西素サイソ

名入醸酒
○仁番人名
○率率
○來朝本朝へ來

ナリ論語
○千字文此時梁鼎興嗣ニ楚ツニ薛平餘蓋鐘絲ガ製ル所ノモノナ

ト文教
○的戸田宿禰ト云
○人口人口

予月君率キタル人
○為新羅所留新羅障ヲナス故塚ル事ノナラザリニナリ

○將國
○國地名ナリ吉野
○醴酒今云マ

○風俗歌ノ土地風
○歲以為常貢獻スル
○阿知使阿知

主姓氏録ニ靈帝四世孫トアリ
○都加使主會替郡名有樂
○帶方會替郡

浪東近者
○寓カリス
○猶豫タメラフト訓ス

○去就エクトユ
○壘天恩天朝ノ御恩徳ヲ垂サセテナリ

招徠之招キキタラシメン
○為公民皇國ノ民

公氏オホミカ
○漢氏漢
○稚郎子母宮主宅媛

表辭上書ノコトバカ
○讓其無禮表

ノ嬖ナルヲ
貴ムルナリ
○面壞其表
目筋ニテ表文
ヲヒキ裂ナリ
○博

通典籍
通シ給フ也
○大鷦鷯皇子
○創

メテ造
リ給フ
○石清水
山城國
綴喜郡
○宗廟
支那國ニテ先祖

ト云フニナラ
ヒテ云ル也
○歲時奉祀焉
歳々々々ヘズ其
祭ヲナスナリ

十代 仁徳天皇

應神帝第四子
第一額田大日命
第二大山守命
第三伊香之真若命
第四帝大鷦鷯尊

○仲姫皇后
品陰真若
王之女
○木兔
ク、ツ
○鷦鷯

○殿
御殿ヲ
○室
○為祥
給フナリ

并有瑞祥
シアリト云フ意
○太子讓位于帝

雅郎子位ヲ仁徳
帝ニ讓リ給フナリ
○避之菟道宮
菟道ノ宮ニ
退キ給也

帝以名分素定不聽
名分トハタ、ニ
○大山

守皇子
母ハ高
城入姫
○固欲帝踐位
○執志益

確御志ヲ守ル
ノマス、確也
○知其不可奪
帝ノ御志ヲ勢
給フマジキヲ

知テ自害ニ
給フナリ
論
○大經
○序
○嫡
本妻バラ

如
○庶
妾腹ト云
○既居儲位
モハヤ太子ノ

○既居儲位
儲ニ居玉フ

○傷父志 ○不得辭選 ○建儲

之時太子ヲ定ム ○隱忍 ○仁且孝 ○兩

得其宜ヨギノドナラモ宜 ○狡カウ ○非徒然アラスト ○窮乏

非必其原由アリト云フ意 ○宮室不聖ケマ也 ○餽

○難波高津宮攝津國 越前郡 ○宮室不聖ケマ也 ○餽

ナキヲ ○節儉カ儉約也 ○登臺遠望 ○窮乏

カニキユ ○家無炊者炊ハ飯ヲ ○課役ノ ○豐穰

○宮垣大内ノ ○頽敗 ○營作修覆 ○豐穰

○殷富富ニ榮 ○歡聲盈路 ○炊烟

○既富矣モハヤ富貴ニ ○不免暴露

○富庶百姓ノ富 ○輸稅調稅ハ田

○運合杖負オノ箕キ箕キ材材木木運運比比モ

○未幾未幾日日モクハヌ也 ○橫

○疏河カ流流穿穿渠渠宮宮北北 ○號

○堀江 ○北次田堤知内郡 茨田郡 ○鍊盾鍊的 ○

戸田宿禰前出 ○ 洞古名也 的古名也 ○ 羅拜ビ

立テ拜スル也 ○ 嘉賞ヨロミホメル ○ 去來穗ホ別尊ミト ○ 諸秦氏オホクハタ ○

養蚕織絹 ○ 柔軟ヤハラカニシテ愜體アタカナルヲ云 ○ 鷹甘部鷹ヲ養フ

足適意也 ○ 普洞王バハカニメ姓波陀 ○ 鷹甘部

○ 依網阿弭古 ○ 酒君 ○ 得馴テナツキ

著條繫鈴臂之 ○ 獵百舌野試之 ○ 難

○ 賢遺臣名ハ宿禰臣 ○ 竹葉瀨上毛野

途獲白鹿 ○ 田道 ○ 阻命命ヲコバム也 ○

挑戰 ○ 固壘壘ハトリテ也 ○ 百衝 ○ 驍勇

絶倫 ○ 縱擊殺傷 ○ 虜 ○ 手纏手卷ノ意

悲慟 ○ 抱 ○ 縊死 ○ 傷惋 ○ 曾孫 ○ 屋主

忍武雄心命 ○ 冰室氷ヲ蓄ム ○ 大中彦皇子

○ 鬪雞大和國山邊郡 ○ 屋廬 ○ 窟堀レ地為室 ○ 鬪

雞稻置大山主 ○ 藏冰其中 ○ 伐冰 ○ 難

波根子武振熊祖珥臣 ○ 飛彈賊 ○ 宿儺 ○

前後二面前後ニ面アルナリ ○ 恃力拒命 ○ 掠略 ○

駐○石上神宮大和國○蘇我滿智石川宿○磐

余稚櫻宮大和國○蘇我滿智石川宿○物

部伊弉佛ノ名ヲ脱ス○圓葛城ノ姓ヲ脱ス○饜臣余磯櫻部○

舟宴市磯池大和國○膳臣余磯櫻部○

櫻花飄落御蓋○物部長真膳連櫻部○

汝往覓之○掖上室山大和國○史○記

民言事左史記言右史○達四方志達致也志

○藏職官物ノ出納ヲ○藏部藏職ニ属セ

十七代 反正天皇

履中帝母弟也履中○生於淡路宮其所在未詳

○齟齒齟齒也御齒ノ齟シク並ベル○汲瑞井

具浴瑞井ハ冷水ノ稱具浴ハ産湯ノ水ニ具ハタルヲ云フ○名曰多遲比

瑞齒別帝ノ御○虎杖○丹比柴籬宮河

國丹 比郡

十八代 允恭天皇

反正帝母弟御名稚朝津間○無嗣帝カレ

皇朝史綱目卷之三

ヨツキナ ○ 遜讓不許 帝御辟退ナサレテ ○ 秦 大和國

鹽固請 神器ヲ奉リ強 ○ 遠明日香宮 大和國

○ 帝憂氏姓混乱 氏トハ中臣忌部、類姓ハ朝臣

○ 味檀丘 大和國高市郡 ○ 許昌 許昌

衣通姫 ○ 茅渟 和泉國 ○ 容色絶世 ○

光艶徹衣 ○ 坂田 坂田郡 ○ 以后色不憚不

敢内之宮 ○ 藤原宮 大和國高市郡 ○ 數

獵行幸 ○ 木梨輕皇子 ○ 穴穗皇子

十九代 安康天皇

允恭帝第三子 第一木梨輕皇子第二 ○ 忍坂

大仲姫皇后 推野毛二派 ○ 淫虐滋甚 ○ 屬

○ 密集兵將襲帝 ○ 慮事不捷 ○ 石上穴

穗宮 大和國山邊郡 ○ 山宮 雄略天皇 ○ 暴 ○ 大泊瀬

皇子 ○ 大草香皇子 仁德帝 ○ 幡梭皇女 ○

聘 婚ヲイヒ ○ 根使主 坂本臣 ○ 私寶押木珠

縵 髪ノ飾ニツ ○ 信驗 ○ 愛 ○ 私匿之不進

クハルモノノ ○ 信驗 ○ 愛 ○ 私匿之不進

○不肯奉命 勅命ニ隨ハヌト也 ○第 ダイ ○中蒂 ナカヒ 姫履 ヒメノリ 中帝 ナカミカド 女

○眉輪王 ○親昵 ○游戲樓下 ○伺帝寐

○弒 シゴク 下殺上レセ マツルト訓ス

天代 雄略天皇

允恭帝第五子 第一木梨輕皇子第二坂合點彦皇子第三穴穗天皇第四 鉦自彥皇子弟

五帝大海 ○神光滿殿 ○劉健 ○逼 ○所以

類雅武尊 ○愈怒 ○思 ○匿 ○圓 ○前出 ○縱 ○市

邊押盤皇子 履情帝ノ皇子母ハ ○御馬皇子

同母弟 ○海瀨朝倉宮 大和國 ○平群真鳥

○大伴室屋 ○物部目 佛伊苦 ○突人部 心

フ云フ所謂リ ○御馬瀨 吉野郡 ○獲禽 罽ヲ得タ

獵場 ○使膳夫割鮮孰與自割 鮮ヲ割ル

ト自ラツクルト執カタ ○御者 御馬ノ取也 ○促

駕 乘物ヲ急 ○憂懼 ○倭采女 ○日媛

吾子籠 ○後宮 オクムキ也ウチ ○歷詢群下莫

能承意 群臣ト、モニ鮮ヲ割ント思ホニテ鑿ネク御

膳臣長野 ○突臚突ハ獸 ○充之以我為

谷谷 突人部ヲソナフルハ穀ヲ ○使群臣貢之

可也 配劍以後群臣ヨリ突人部ヲ ○臣臣 姓ノ ○連

連姓ノ ○伴造伴ハ部也 一部份長ヲ云フ以上三

葛城山大和河内兩 ○野豬突至 ○逆 ○將

觸帝直チニ帝ニ突當 ○陛下天皇ニ對 ○荒

田從獸無厭語 ○以獸故 ○無乃不可乎ツテ

吉備田狹上道國邊 ○任那國司 ○

直禁内禁中ニ宿直 ○稚媛上道國 ○弟君 ○

吉備海部赤尾彦狹島 ○取道百濟百濟ヲ

羅代ニハ ○技工 ○樟媛 ○戌兵 ○

膳斑鳩 ○吉備小梨 ○難波赤目 ○紀小

弓解 ○蘇我韓子子 ○大伴談室

子ノ ○小鹿火解 ○噪地悉定 ○紀岡前

來目 ○交交 ○卒干軍軍中ニ ○大

皇朝史四傳家卷二

皇朝史四傳家卷二

磐 ○ 木工水面 ○ 御田人名 ○ 起樓閣 ○ 身

狹青身狹ハ氏 ○ 檜隈博德 ○ 工人 ○ 漢織青ハ名

吳織機織 ○ 縫衣 ○ 兄媛弟媛 ○ 泊住吉

津根津國 ○ 檜隈野大和國 ○ 奉大三輪神高市郡

同添上郡 ○ 為漢衣縫部 ○ 石上高拔原大和

國山 ○ 服飾衣服ヲ盛飾ラ ○ 乃引見殿前

根使主殿中 ○ 悲泣 ○ 怪 ○ 詰問 ○ 首服罪

召テ見玉カキミタタ ○ 日根和泉國 ○ 築壘拒守 ○ 難波

日香蚊 ○ 抱持 ○ 屍 ○ 冤哉懸不 ○ 自刎

賜姓大草香部吉士 ○ 秦酒君子解君孫

子 ○ 克積ツミカサ ○ 大藏官大藏省 ○ 汶

洲 ○ 久麻那利地韓地名熊川也今朝 ○ 白髮

皇子 ○ 祀豐受大神於伊勢度會郡山田

原イハユル ○ 丹波真井原丹波 ○ 餘社郡

後丹後 ○ 浦島子熊川ノ人 ○ 到蓬萊

國ニ屬ス ○ 玉合玉函 ○ 俄頃至浦口

聖明史略 卷之二

三十五

詒其讒シ 嬖ヒ 色シ 間ヒ 變ヒ 易シ ○ 一シ 老シ 嫗シ ○ 憫シ 然シ 夫シ

免シ ○ 文シ 斤シ ○ 昆シ 文シ 玉シ ○ 未シ 多シ 玉シ ○ 策シ 紫シ 安シ

致シ 匿シ ○ 馬シ 劍シ 臣シ ○ 百シ 濟シ 采シ 女シ ○ 石シ 彫シ 楮シ ○

來シ 自シ 部シ 未シ 日シ 成シ 卒シ 年シ ○ 假シ 度シ 不シ ハシ エシ ルシ ○ 嘗シ

猪シ 名シ 部シ 真シ 根シ ○ 劉シ 木シ 以シ 石シ 為シ 實シ 質シ 當シ ○

揮シ 斧シ ○ 鍛シ ○ 裸シ 體シ ハシ タシ カシ ○ 相シ 撲シ ○ 欺シ 妄シ ○

其シ 徒シ 解シ 僞シ ○ 歡シ 惜シ ○ 作シ 哥シ 諷シ 不シ ホシ ヲシ ハシ ヲシ ○

頰シ ヨシ ホシ ヲシ 瀕シ 云シ 竟シ

卅九 清寧天皇

雄略帝第三子第一磐城皇子第二星川稚彥皇子第三帝自髮武實國押稚彥攝子尊

葛城韓媛國大睦シ ○ 生シ 而シ 白シ 髮シ ○ 特シ 異シ 重シ 之シ

星川皇子シ 媛シ 古シ 備シ ○ 東漢擲シ

磐余甕粟宮シ 大和國シ 市郡シ ○ 白シ

髮部舍人シ 近シ 宮シ 中シ ○ 膳夫シ 御膳シ 事シ ○ 鞞シ

負シ 宮シ 中シ 守シ 衛シ 官シ 以シ 上シ 自シ 髮シ 部シ 下シ 云シ 部シ ○ 諸國シ 立シ オシ キシ ヲシ 御シ 名シ ヲシ 遺シ ヲシ 殘シ フシ 也シ

弘計王シ ○ 巡省風俗シ 國々シ 風俗シ ヲシ 巡シ ○ 伏シ

馬器玩

廿二代 顯宗天皇

市邊押盤皇子第二子 第一德計王第二帝 衰祚之石葉別尊

蕙媛 葦田宿禰ノ女 ○ 帳内 舍人ニ同シ帳内 ○ 日

下部使主 日下部ハ姓 使主ハ名 ○ 吾田彦 ○ 變名田

疾來 ○ 縮見山石室 明石郡 ○ 忍海部造細

目 目ヲ見ニ 作ルハ誤 ○ 家僮 ○ 來目部小楯 山部臣

執燭在側 ○ 起舞 ○ 寓 ○ 諷詞

更令復唱 歌ハレムルナリ ○ 自贗

避席 席ヲサカ ○ 胤 ○ 供奉 ○ 還具奏

其狀 ○ 固辭 ○ 飯豐青皇女 母ハ 蕙媛 ○ 臨朝

稱制 臨朝行ノ天子事 且稱制トアリ ○ 太子奉璽 勸進 太子帝ノ

以テ神器ヲ讓リテ ○ 辭讓數四 帝弟ナルヲ以テ位 即位ヲ勸進メ玉フ

近飛鳥八鈞宮 大和國 郡 ○ 遭害 ○ 幼弱

親臨歷問 帝ミヅカラソノトコロニ臨 ○ 一老

來田綿蚊野 愛智郡 ○ 設曲水宴

名ハ 置目 ○ 來田綿蚊野 愛智郡 ○ 設曲水宴

國城 ○ 殘忍嗜殺 ○ 剝孕婦 ○ 胎 胎子 ○

解人指 甲 指ノ取ヲ ○ 暮蕚 ○ 頭髮 ○ 射墜

○ 快 ○ 殘虐 ○ 繼體天皇

應神帝五世孫也 御名男大迹尊 ○ 父彦主

人王 應神帝ノ子若野毛ニ ○ 別業 ○ 三國坂中

井越前坂 ○ 振媛 兼仁帝五世ノ孫 ○ 幼孤 早

父王慶 ○ 鞠養 ○ 高向 坂井 ○ 定議 ○ 倭

彦王 仲哀天皇 五世ノ孫 ○ 儀衛 儀ノ容儀 ○ 嚴 嚴重ヲ

逃匿 ○ 法駕 天子輿 ○ 據 依 ○ 胡牀 ○ 齊

列 齊整也 ○ 儼 恭也 ○ 持節使 朝廷ノ節ヲ ○

尊嚴 ○ 嚮 心ヲ傾ム ○ 未就道 未タ背ヒ ○ 馬

飼荒籠 ○ 翼戴 翼ハ輔翼戴ハ推戴也 ○ 樟葉宮

河内國 交野郡 ○ 上鏡 劍 ○ 山背筒城 筒城 ○ 哆剝

國司 ○ 穗積押山 ○ 上哆剝 ○ 下哆剝 ○

娑陀 ○ 牟婁 ○ 姐弥文貴 ○ 州即尔 州ノ下

利ヲ脱

皇朝史田代家卷二

○五經博士 ○段揚爾 ○伴跋國 任那ノ別種

○已汶 ○帶沙 ○勾大兄皇子 ○弟國 山城國

○倭磐余玉穗宮 十市郡 ○近江毛野 名入

○筑紫國造磐井 越勢命 ○火豐二國 今

肥前肥後豊前 ○物部麋鹿火 麻佐良ノ子記 ○已

能未多干岐 ○背約 侵掠 ○和解 諸蕃 韓

○國々ニ諭シ ○綏馭失方 和解スル ○尋崩 引續テ崩

○勾大兄王 ○疾病 ○疾

廿六代 安閑天皇

繼體帝庶長子 御名ハ廣野 ○尾張目 尾張目

子媛 尾張連草香女記ニ ○器宇寬弘 器量ノ大

勾金橋 大和國高市郡 ○檜隈高田皇子

廿七代 宣化天皇

繼體帝第二子 第一先帝第二帝 ○清通 三口

○才能 才智 ○矜 自賢トスル

○才能 才智 ○矜 自賢トスル

檜隈廬入野 大和國高市郡 ○蘇我稻目 高麗子 ○

阿部火麻呂 一ニ大麻呂ニ作ル ○歷事 代々事 ○曉 明也

也了 ○磐 兄 ○狹手彦 弟

廿八代 欽明天皇

繼體帝嫡子 御名天國排闥廣庭尊嫡子ハ皇后ノ長子ヲ云 ○手白香

皇后 億計帝女 ○磯城島金刺官 大和國山辺郡 ○肅慎

人 靺鞨國 ○御名部寄 羽茂郡 ○膳臣巴提使

○宿海濱 ○冰夜 ○大雪 ○且起尋索 ○

虎蹤 ○認行 ○巖岫 山有宛 ○跳 出 ○張口

欲噬 ○捉虎舌 ○明 百濟王 ○金銅佛像 ○

幡盖 ○經論 佛經祖論 ○上表 ○讚述 ○功德

イハユルク ○物部尾輿 荒山子 ○中臣勝海

紀ニ鎌子ニ作ルヲ是ト ス勝海ハ鎌子ノ子ナリ ○拾向原 高市郡 ○疾

疫 ○有司 ニヤク ○難波堀江 攝津國東生郡 ○火

藍 ○漢城平壤 韓地名 ○内臣 甘味内宿 ○援

兵 ○遞番 更番也 ○渟中倉太珠敷尊 ○樂

○

工樂人 ○ 函山城 ○ 虜獲 ○ 好錦毘毘

王子餘昌 ○ 惠 ○ 阿倍臣 ○ 彌氏津

佐伯連 ○ 筑紫火君 ○ 紀男麻呂 ○ 調伊企

要害 ○ 險隘也カンジン ○ 紀男麻呂 ○ 彌氏津

河邊瓊岳 ○ 輕進失利 ○ 奮罵不屈 ○ 珍寶 ○ 崇奉 ○ 向原寺

儻 ○ 百濟ノ努理 ○ 奮罵不屈 ○ 珍寶 ○ 崇奉 ○ 向原寺

舅子 ○ 逸 ○ 珍寶 ○ 崇奉 ○ 向原寺

佛祠 ○ 敏達天皇

井九代 敏達天皇

欽明帝第二子 ○ 第一箭田珠勝大兄皇子 ○ 石姫

皇后 ○ 宜化帝 ○ 物部守屋 ○ 蘇我馬子 ○ 烏

羽鳥ノ羽ニ文 ○ 字跡不辨 ○ 王辰尔

燕 ○ 飯甑 ○ 印 ○ 帛 ○ 嘆異 ○ 闡儒風

有識 ○ 學者 ○ 辰孫王 ○ 闡儒風

譯語田幸玉宮 ○ 大和國 ○ 火葦北國造阿

利斯登 ○ 日羅 ○ 吉備海部羽島

命彦狹島 ○

愛其材愛ハ ○復ナリ ○恩率名官 ○德介

○余怒カヌ ○可怒トモニ ○參官共ニ官 德率名也 德介名也

○次干德人名 ○糠手子大伴連

○阿倍目目ヲ日ニ作ルハ誤也 ○物部贄子 ○具陳具陳ニ

征討之策 ○嘉納焉悦ビテ用ユルナリ ○恐

其言已國事 ○收捕 ○鞫問究罪也 ○崇信崇信ニ

崇奉信敬 ○脩治佛宇 ○毀塔宇燔佛像 ○

餘燼 ○三尼善信尼禪藏 ○捷打也 ○有隙ケキ

○請奉三寶 ○寶佛法僧也之ニ歸 ○雅好

文史學文 ○汝獨為之 ○大兄皇子

三十一代 用明天皇

欽明帝第四子第一箭田珠勝大兄皇子第二譯語田

帝擣豐 ○蘇我堅鹽媛蘇我稱目 ○磐余池邊

雙槻宮大和國十市郡 ○穴穗部皇子欽明天皇ノ皇子 ○懷

覬覦希望也 ○愈益不平 ○三輪逆大田

命ノ後 ○寵任寵愛シテ ○殯宮天皇ノ柩ヲオ

々根子 ○寵任召仕フ ○殯宮ク殿ヲ云ノ

蒸シヨウ下シ瀉カ ○ 不ズ内内 ○ 別ワカ宮キヤウ ○ 海ツ石バ榴イ市チ ○ 旗ソダ

人ヒト親レ族族 ○ 所ス告ツ ○ 新ニ嘗シヤウ ○ 新新嘗嘗 ○ 磐イ余レ河カ上カミ

○ 蕃バン神シ 異異國國 ○ 贊サ成シ詔シヨウ音イン ○ 怨エン隙キ 不不和和 ○

滋シ ○ 迺ニ見ミ赤シ擣ヒ ○ 若ワカ雀カキ命命

世代 崇峻天皇

欽キ明明帝帝第第十二十二子子 紀紀二十二十子子トトアアレレ氏氏未未詳詳帝帝 ○

蘇ソ我ガ小小姊シ君君 蘇蘇我我稱稱日日 ○ 託ト ○ 謀カ泄レ ○ 佐サ伯バク

丹ニ經經手手 ○ 土土師シ磐イ村ムラ ○ 肩ケン ○ 墜ツキ ○ 旁ハウ室シツ ○

舉キ燭燭 ○ 索ソク ○ 宅タク部部皇皇子子 欽欽明明天天皇皇、皇皇子子帝帝、同同母母兄兄 ○ 畏イ懦ヌ

○ 豐トヨ聰聡耳耳皇皇子子 ○ 整ト兵ヘ進シ攻ク ○ 射イ斃タス ○ 倉クラ

梯ハシ官官 大大和和國國 ○ 貢クワン調テウ ○ 佛フツ舍シヤ利リ ○ 慧エ聰聡 ○ 寺ジ

工コウ ○ 鑪ロ盤パン 工コウ 露ロ盤パン 二二作作 ○ 瓦ワ 工コウ 瓦ワ ○ 画クワ 工コウ

繪エカ 也也 ○ 法ハフ興キウ寺ジ ○ 巨コ勢セ比ヒ良ラ夫フ ○ 大オホ伴バン齋サイ

○ 吉キ士シ磐イ金カネ ○ 吉キ士シ木キ蓮レン子コ ○ 專セン橫コウ ○ 矯キョウ

飾シヨク ○ 姦カン心シン ○ 盞サン小コ忍ニン 何何故故少少時時堪堪ヘヘテ ○ 如コト斷断

此コノ猪イナ ○ 東ヤマト漢コノ直チキ駒コマ 磐磐井井ノ ○ 炊カキ屋ヤ姬ヒメ皇ミコ后ノ

推古天皇

用明帝妹也御名豐御食炊屋姫 ○ 踐作天皇ノ

即位天皇ノ御位ニツキ玉 ○ 即位礼ヲ行ヒ玉

豐浦宮大和國高智郡豐浦村 ○ 攝行万機帝ニカ

穴總部聞入皇后 ○ 懷妊 ○ 行ヲ云フ

巡視官省宮殿諸官省ヲ ○ 廐戶 ○ 穎敏 ○ 訓

學多通釋典佛書 ○ 儲貳太子ニ立 ○ 荒

陵西成郡 ○ 興隆 ○ 競 ○ 慧慈 ○ 慧聰 ○ 孔

雀一隻 ○ 駱駝 ○ 驢 ○ 羊 ○ 白雉 ○ 境部

臣 ○ 侵地 ○ 檢問 ○ 寢兵 ○ 來目皇子用

帝子 ○ 鞞 ○ 韞 ○ 貢 ○ 天文地理 ○ 遁甲占

軍陣等ニ用ユ一種ノ法ナリ ○ 方術醫藥呪禁 ○ 小墾田

宮大和國高市郡 ○ 大楯矢ヲ防 ○ 鞞矢ヲ入ル ○

旗幟 ○ 定冠位十二等ノ冠ヲ ○ 大德小德 大

仁小仁 大礼小礼 大信小信 大義小義 大智小智 凡十二階 ○ 以當色縫之 位階相當ノ色

冠 絶ヲ以テ冠ヲ繼ヘル
ノ絶ハフトキ又也

元會 著鬢華元會ハ
冠ノ頂ハトリヨセテ袋ノ如クニ製ニ綴ラツケタルナリ

儀式 云フ鬢華ハ鬢ニサス
ニテ今ノカニザビノ類ナリ

禮 朝廷ノ
銅鑼 丈六佛像丈六ハ一
靴

作鳥 世ニ云フ鳥
佛師ナリ

壬生部 産生ニアツカ
ラ亦ヒラミトモ云覆

野妹子 米餅擣大使
橋上之衣也下リ

隋主 隋國ノ王
日出處

天子 歎言日彼處天子無恙
蘇因高

裴世清 報聘 贈ハ答也問也送書ヲ
持テ來朝セシラ云フ

成 學生 書生ニ
高向玄理 或ハ黑唐
作ル

問僧 南徧請安 僧旻 曇徽 法定

穰 磬 味摩之 伎樂舞 吳國ノ
櫻

井 大和國 犬上御 田 欽 稱依 別王
後裔

部造 大安寺 大和國 添上郡 陪俘 陪國ノ
器

械 掖 玳 玳 多 玳 島 薩 摩 國 ノ 南
多 玳 島 ノ 西ニリ

紀天皇 臣連 臣姓連 姓ノ
家ヲ云フ

伴造 各 部ノ
國

造ミナシ各國ノ長ナリ ○ 謚オモク ○ 聖德シヨウトク ○ 境部サカイ雄麻呂ユマロ ○

中臣ナカノミ國クニ或ハ國子クニコ ○ 作スル ○ 恐怖オソウ ○ 請罪モトメ ○ 僧ソウ

都ミヤコ ○ 檢校ケンギョウ僧尼ソウニ ○ 僧尼ソウニ ○ 司シ職シヨク ○ 鞍クサ作ツクリ部ブ

德積トクシキ ○ 陰狡インカウ ○ 下シタ心ココロノワル ○ 才サイ畧リョク ○ 才サイ畧リョク ○ 才サイ畧リョク ○

外戚ガイセキ ○ 擅朝センテウ權ケン ○ 政セイ更シヲシ執行シヨウギンフツ推オシ威イ ○

不敢カク收ウケ之ノ ○ 卧ワ内ナイ ○ 寐ネ室シツ ○ 姦カン ○ 交通カウツウ ○ 數スウ其ソノ

行弒コウジツ逆ギャク ○ 天アメ皇ミコヲシ弒コロスシテ奉ホウル ○ 叫ケウ ○ 挺テイ劍ケン ○ 蘇ソ我ガ

蝦夷馬子

論ロ作サス備ビ ○ 備ビ端ヘ不ズ善シ曰ク作サス備ビトスアリ ○ 易イ制セイ ○ 自由ジユウ

保位ホウイ ○ 長ナガク君キミ寵チヨウヲウケカチ高タカク位イニア ○ 立タテ已イ出デ ○ 固コ寵チヨウ

倂ヒツ逆ギャク ○ 計ケイヲシス也 ○ 馴ニ致シ ○ 馴ニ致シ ○ 馴ニ致シ ○

嗟サ乎ヤ ○ 懸象ケンシヤウ ○ 日ヒ月ツキヲ ○ 盛セイ夏カ飛トビ雪ユキ ○ 端ヘ始ハジメ ○

悠ユウ遠エン ○ 不ズ關カン ○ 盛セイ夏カ飛トビ雪ユキ ○ 端ヘ始ハジメ ○

舒シュ明メイ天テン皇スミ ○ 盛セイ夏カ飛トビ雪ユキ ○ 端ヘ始ハジメ ○

世セ三サン代ダイ ○ 舒シュ明メイ天テン皇スミ ○ 盛セイ夏カ飛トビ雪ユキ ○ 端ヘ始ハジメ ○

押坂オシサカ彦ヒコ人ヒト大オホ兄ケイ之ノ子コ ○ 田タ村ムラ皇スミ

子 ○ 糠手姫皇女

淳中倉太珠 數天皇之女

○ 遺詔

天子ノ

○ 山背王

聖徳太子ノ子

○ 境部摩理勢

縮目ノ子

○ 定策

コトヲトリ

○ 藥師慧日

吳主孫ノ子

○ 飛

鳥圍 ○ 固本宮

大和國高市郡

○ 璋

○ 豐

○ 高表仁

○ 留學

他國ニ留ツテ學問スル

○ 蝦夷

○ 上毛野

○ 弁

名 ○ 定斗升斤兩

榘目秤

世代

皇極天皇

寶皇女

○ 茅渟王之女

母ハ吉備姫女王櫻

井皇子

○ 薊

○ 高向王

山背大兄王ノ子

○ 入

鹿 ○ 威權

威勢 推柄

○ 弔喪使

先帝崩御ヲ弔フ使ナリ

○ 津守

大海

○ 國勝水雞

○ 草壁真跡

坂本長兄

○ 賀登極使

御即位ノ悦ビニ奉タル使ナリ

○ 允

旱弥月 ○ 大雩

○ 南淵河上

○ 跪拜

蹲リテ拜シ玉

○ 仰天而祈

○ 雷雨忽至

○ 至德

○ 祖廟

先祖ノ墓所

○ 葛城高宮

葛上郡

八佾舞

佾ハ舞ノ名左傳ニ天子ハ八佾諸侯六佾トアリハ八六十四人ニテ舞フト云フ

興大役大上求ハ豫營子壽藏子ノ墓ヲ飛

大陵小陵入鹿ノ墓ヲ小陵トス○飛

鳥板葺宮大和國高市郡○紫冠大徳ノ冠也○擬古人

大兄皇子威望○威望威光ノ望トモ○巨勢徳

太古雄柄宿祿ノ裔○土師猪手猪ノ土ニ○斑鳩和

國平群郡○妃妾○經也○中臣鎌足○神祇

伯神祇官長也也○小徳冠御食子皇孫命ニ○博

涉書傳傳ク學問ニ達也○宏遠也○略絶人

○三島根津國鳴下郡○專橫也○慨然大ニ志ヲ起ス

○匡濟○宗室諸王皇族等也○可輔以

濟功者屬心ヲ寄ル○中大兄皇子○通

情陪隨也也○蹴鞠也○槻樹也○鞋偶

○跪由是情好日密好ハ去声紀ニ相善○

○周孔周公孔子○南淵先生請安也○託

○蕪我石川麻呂馬子ノ孫倉磨ノ子

○結昏以為援中大兄尊石川麻呂ノ女○薦薦

○學問ニカコソツ○蕪我石川麻呂馬子ノ孫

スル ○ 佐伯子麻呂 ○ 葛城稚犬養網田

也 網ヲ細ニ 作ルハ非 ○ 第宅甘擣囿 大和國 高市郡 ○ 宮門 ○

谷宮門 ○ 王子 ○ 構 ○ 柵門 柵ハ編木鳥之紀

○ 兵庫 武器ノ庫 ○ 警衛 ○ 築城環池 ○ 僭

擬 天子ニ擬フテ 臣道ヲ乱ス也 ○ 進調 ○ 卿當讀表 韓ヨリ

奉レル表文ヲヨ 三五ヘト云意 ○ 諾 引受 ○ 及期 其時ニ ○ 大

極殿 朝堂院ノ 正殿ナリ ○ 入侍 侍ハ祇 假也 ○ 使俳優調之

守衛ノ官也 ヲゲヒ ノソカサト訓ス ○ 長槍 ○ 促 ○ 畏縮 不發

入鹿ニ畏レテ 斬リカヌル也 ○ 手戰聲顫流汗沾背 ○ 天威

咫尺不覺乃尔 余リ天子ノ御前近キユニ 思ハズ如此ナリシト云意 ○ 機

機會ニテ肝要ノ時ヲ云フ ○ 輕皇子

世代 孝德天皇

皇極帝母弟 同母弟ナリ御名 ○ 左大臣 ○ 右

大臣 ○ 内臣 内大臣 如シ ○ 皇祖母尊 ○ 阿陪倉

梯麻呂 大彥命ノ後裔 内麿トモ云フ ○ 大化 ○ 佐平 官 ○ 縁

名

三二七

福名人 ○兼領任那調使 ○宜 ○却還貢物

○三輪粟隈東人 ○馬飼造 ○觀察 ○設

鐘匱於朝 ○納牒于匱 訃ル所アリテ尊長上ニ申

入レテ訃ル ○寛枉 寛ハムジツノ罪枉 ○得撞鐘

以訃 寛枉ヲ蒙リタルモノモ三 ○謀反伏誅 ○録

戸口 家数人数 ○杜兼并之路 或ハ公民ヲ兼并シ

テ使役スル等 ○難波長柄豊崎 摂津國西成郡 ○新令

紀ニ改新ノ ○前代所置子代之民 天皇ニ皇子マ

皇子ガナニ御子ノナキ時ハ其御名ヲ後世ニ傳ヘントシ

テ置タマフ御名代ノ民ヲ云フ紀ニ子代ノ御名代ノ部標

代民トア ○處々屯倉 屯倉ハ皇領地ノ稱ニシテ後

ヲモ云フミヤケトハモト御耕地ニアル 貯給倉廩ノ稱ニ

テミヤケノ名ハ官舎ヨリ起リ屯倉ノ字ハ倉廩ヨリメデ

スルヲトナレルナリ ○村首 酋ハ長也 ○所有 ○部

曲 紀ニ部曲民トアリタニ下ノ ○田莊 後世所謂

アリ部曲田莊ハスナハチ ○大夫 三位以上ノ後

私有ノ人民土地ヲ云フ ○食封 位階ニ應レテ民戸ヲ配當シ

○等級 多少ノ差アリ ○國司 國守以下 ○郡司 郡

主政 ○主

以下ノ ○大領少領 領ハ一ホノミ
官ヲリ ○大領少領 ヤツコト訓ス
○班田 年毎ニ班授ス
田長

帳 ○造戸籍 帳ニ戸籍計
帳トアリ ○班田 年毎ニ班授ス
田長

收授 死スレバ收メ
殖レバ授ク ○定田 畝
田長

罷舊賦役 舊法
廢

租稅二束二把ヲ收ムル制ヲ定ム
庸ハブヤク也又カハリ

租庸調 租ハ田租也庸ハ布ヲ收ムルヲ庸布ト云フ調ハ田
ノ他ノ品物ヲ收ムルナリ

○徒御小郡宮 攝津國
西成郡 ○七色十三階冠 織冠
繡冠

紫冠 鏡冠 青冠 黑冠以上
○大山位 位冠 ○倭漢荒

田井比羅夫 五字姓
○穿溝瀆 ホリナ
○督

役失方 人夫ノツカヒカタ
宜シカラサル也 ○疲勞 ○罷古冠

推古帝十二階ノ冠
○磐船柵 越後國
石船部 ○冠十九

階 大織小織大繡小繡大紫小紫大華上大華下小華上小
華下大山土大山下小山上小山下太乙上大乙下小乙

上上乙
下立敷 ○八省百官 八省ハ中務式部治部民部兵部刑
部大藏宮内ナリ百官ハ都テノ諸

官ヲ
倉麻呂 ○金策 紀ニコガネノフム
○日

向 蕞我姓字
ハ身刺 ○籍其家 其家ノ資賦ヲ記シ
○悟

其寃 一ナルヲ悟ル
○貶 ○太宰師 太宰府ノ長官
ナリ太宰ハ九

○

○

州ヲ總轄
スル府也

論宥イナリ○戮リシ及オシ無辜ムコニ○何其慘サシ礪カク少恩スチキオン

○肆シ○刑憲ケイケン○僅ワツカ○貶シ竄サン○大紫ダイシ

○失刑シツケイ○失刑シツケイシオキノシカタ
ヲウシナヘル

○小紫セウシ四位ニ
アタル ○大伴長徳オホトモナカトク一名馬飼
金村、孫 ○大紫ダイシ

三位ニ
アタル ○穴戸アナド國司クニノツカサ○草壁クサカベ醜經シウキョウ○難波長ナニハナガ

柄テ豐トヨ崎サキ宮ミヤ撰津國テツノクニ西成郡セウジノ○小山コヤマ上ノ位ニ○吉士キシ長丹ナガニ

○小セウ上ノ位ニ○吉士キシ駒ウマ○大山オホヤマ下ノ○

高田タカタ根麻呂ネマロ○掃守スウシ小麻呂コマロ○竹島タケシマ○竹島タケシマ○

合カヒ船セネ漂没ヒョウボツ船中ノ人悉ク
沉ミシヲ云フ ○門部カドベ金カネ○

皇神ミコト母尊ハハノミコト皇后ミケノサキ皇極ミコトノサキ天皇ミコトノサキト間マヒ○倭飛鳥ヤマトノトビ河邊カハノヘ

行宮ヨリミヤ郡ノ高市タカシ○驚オドロク懊アウ欲ス遜位スツノ下ニキ○山崎ヤマザキ山城國ヤマシロノクニ○

遣唐テウ押使オシシ遣唐使テウテウシ總督ソウトクナリ大オホ○河邊カハノヘ麻呂マロ河邊カハノヘ

吐火羅トウカ國クニ印度インド地方トコロ○舍衛セウヱ國クニ上ノ○天テン

資シ系ケイ仁ニ○訪求ハツカス民タタ瘡カサ民タタノヤミカレフル處トコロヲ

畫國界カクレクニ○田制デンセイ前ノ○制度セイド法則ホウソク

世六代

齋明天皇

宮闕 朝廷

○後飛鳥田水宮 大和國高市郡

○起觀 多摩郡

於田身嶺上兩槻樹上 田身嶺ハ多武峯ナリ十市郡ニ屬ス

○吉

野宮 離宮

○鸚鵡一隻

○災 ○孟蘭盆會 孟蘭ハ梵語救鬼倒懸ト訳スイハユル精靈祭ノ起原ナリ

孟蘭ハ梵語救鬼倒懸ト訳スイハユル精靈祭ノ起原ナリ

○遮驛 宿オクリ

○越

國守 令ノ越前越中越後ノ國ヲ司リニ職也

○郡領前

○淳代

羽後國掄原郡野代

○津輕 陸奥國津輕郡

○有間皇子 母ハ小足媛阿部倉橋麿

○詭詐 ○牟

婁溫湯 池伊國牟婁郡

○蕪我赤兄 馬子ノ孫倉麻呂ノ子

○留

守 留マリテ御所ヲ守ル也

○時政三失 一ハ倉庫ヲ起テ民賦ヲ聚ムル也ニハ長渠

詰 案脚自折

○物部朴井鮪 ○行在 三エ

○黨與 ムホン

○絞 能ヲ絞

○藤白坂 紀伊國名草郡

○羆 白熊也

○智踰

○指南車 車ノ名

○後方

羊蹄 北海道衛志州ナリ

○坂合部石布

○示唐主 唐

天子ニミ

○佐平鬼室福信

○圖恢復 モトニ

浮浪ハ浪人也 ○得龜背書申字上黃下玄 ○造水

確冶鐵 ○大友皇子 ○中臣金 ○蘇

我果安 武内宿 巨勢人 大納言 頌冠位法

入 大口巨 為御史大夫 漢名ナリ 李守真

度 冠位ト法度トヲ施行スルヲ 劉仁願 侏儒 中臣部若子

沙宅紹明 有差 等差ア 擊鍾鼓以警時 警也

漏刻 水時計 不豫 天子ノ疾病 彌留 御病ノ

新臺 新ラシキ 屬 附也託也云 固辭 剃髮

架梁 僧衣也ケサハ梵語譯 比智島 其所

山背山科陵 宇治 遺履 御履ノ遺レルヲエテ

材木不剗 質樸 カザリノ 木丸 殿 造レル

為之歌 アサクラヤ木ノ丸殿ニワガヲレバ 歌 曲

治體 セイジノオ 典禮 典刑 憲

章文物 憲章ハ典刑禮儀ノ文書也文 祭然可觀

祭ハ祭也明也ハツキ 規摹宏遠 モヨフダテノヒロク

リトメニタツヲ云フ 規萬

コノミウタ神樂 曲トナレルヲ云フ

ナカトミノコガネノ子

世大

○振古

ト言フ

○十陵

清和天皇ノ

○隨

世數

○世教ノキマリアル故

セウニマレナルウ

○社稷

國家ト

云ニ同シ

論

○不世出之姿

マレツキト云意

○將來

後世ニ

○任用

事ヲ

○顛也

○典刑

○將來

同シ

○任用

事ヲ

○雖漢照

任七用

○君臣遭遇

君モ君臣モ臣

遇ルヲ云

○雖漢照

イトモカニセウ

蜀ノ玄徳ガ孔明ヲ用

烈之於諸葛亮

茂以過

蜀ノ玄徳ガ孔明ヲ用

ヒタルニ競ベテモ過

○武能戡亂

文能致治

武ハ武畧

ルヲハ無キ

○武能戡亂

文能致治

文ハ文學

○安能臻此哉

イタクゾヨクイタルニヤ

ト云フ

○英明

スグレテハツ

○安能臻此哉

イタクゾヨクイタルニヤ

ト云フ

ヨツカヤウニ至

○良有以也

以ハイハ

レナリ

世八代

弘文天皇

天智帝長子

御名大友尊初

○伊賀采女宅子

ヤカ子

娘

采女ハ女

○魁岸奇偉

ミカラダノナミスグ

○眼光

射人

眼中精耀顧眄焯焯トアリ

○風骨非常

人品骨

人ニ非ルナリ本書

○大漸

御病ノオモル

○阿曇稻

アツミノイナ

敷

○國喪

天子ノ

○喪服

ミネタテマツ

○書函信物

信物ハ

○稱揚

也

○村國男依

○

和珥部君手 ○大分惠尺 ○驛鈴道中人

ツカフシルルシニ官 ○倭留守司 大和ノ舊都ヲ

高坂王 ○東行 東國ニ行幸 ○三宅石牀 牀ヲ將

也 ○鈴鹿山 伊勢國 鈴鹿郡 ○京師 滋賀

○駿騎 スツレタ ○追躡 ケル躡踏也 ○誓緩 キ一誓

遲也 ○事機 機會ナリヨ ○巧遲 タクミニシテモ

止也 ○論 拙速 拙クテモ速キニ 如ス韓非子ノ語 ○英才 スルレタ

○失策 ヲトイ ○英才 スルレタ ○雄略 雄武

○韋那盤 鐵 ○書藥 ○忍坂 大麻呂 ○總

積百足 ○物部 日向 ○佐伯男 ○樟盤手

○飛鳥寺 高市郡 飛鳥村 ○大伴吹負 咋子

テ誘ヒ殺 スナリ ○被擒 生捕 ○坂本財 ○高安城

大和國 吉野郡 ○壹岐 韓國 ○大津 和泉國

也 比郡 ○衛我河 河内國 志紀郡 ○來目鹽籠 ○事泄 露頭

○山部王 ○犬上川 近江國 犬上郡 ○不破 美濃國

羽田八國 稚津毛三 後 ○大人 國ノ子 ○乃樂山 大和

皇明史略更張表三

○八口同 ○境部藥 大彦命 ○村國男依 ○

息長横河 近江國坂田郡 ○秦友足 ○鳥籠山 近江國犬上郡

○葦池上 大和國葛下郡 ○犬養五十君 ○村屋 大和國城

○箸陵 百襲姫命墓 ○廬井鯨 ○衝 ○三

輪高市麻呂 利金子 ○置始菟 ○斷後 夕チキル

○驚潰 オドロキ ○死傷無算 死人手 負數シ ○

栗太 近江國栗本郡 ○薄 ○瀬田 栗本郡 ○悉 ○旗幟蔽 ○智尊

野鉦鼓震天 野ノガ野ノバイニ

姓名詳ナラス一説ニ 法師ナリト言フ ○精銳 勇士 ○先鋒 一ノ

撒 一長版 一マイノ ○繫索設機 一ノ

ルモノアレバ板ヲ引テ ○列弩亂發 一ノ

○矢下如雨 ○大分稚臣 ○棄矛提刀踏

版疾度 ○冒矢以進 矢ノ來ル中ヲ ○谷鹽手

○粟津市 近江國滋賀郡 ○物部麻呂 一ノ

舍人 ○山前 近江國滋賀郡長等ノ山前也 ○從腋下出 ○

已覺驚異 ○巨猾 大ニワルガ ○伺隙 一ノ

○無親 別ニ親愛スル所ハナシト也 ○掖庭 后妃之所居也トアリ 本書納後庭ニ作ル

○奉巾櫛 妃トシテ巾櫛ノワザニ侍セシムルヲ云フ 本書宛箕帚ノ妾トアリ 同意ナリ ○不

終ヲハリヲヨク ○皇明光日月 皇威ノサカレシタマハズ

帝德載天地 帝德ノ廣大ナルヲ云フ ○三才 天地人ナリ ○泰

昌 泰安也 昌盛也 ○表臣義 臣タルコトワリヲ云フ ○承天訓

天神ノ訓ヲ受ルト云フ意 ○鹽梅寄真宰 政治ノ鹽梅ハ真宰ニ

帝也 莊子ニ出 ○監撫 監護撫育也 ○四海 天下ト云フニ同ジ ○文藻

精絶 スグレタルナリ

卅九代 天武天皇

大海人 天瀆中ノ原 瀧真人尊 ○岐山疑 ○英武 スクレテ

曉 知也 了也 ○赴 翼虎放之也 日本紀虎著翼放

朴井雄君 守屋ノ子 ○差 ○噬臍無及 後悔スルトモ及ブ

廉 察也 實否ヲ ○身毛廣 ○安八磨郡 美濃國

湯沐令 湯沐邑ノ長ヲ云フ 湯沐邑ハ東宮ノ封戸也 延喜式ニイヅ

○多品治 多品ノ治

○畜謀 又ル謀 ○徒手 ○梗澁 ○黃書大

伴トモ ○逢フ志摩シマ ○高タカ市シ大津オホツ 二皇子近江ニ在ヲ召也 ○正セイ妃ヒ

○鷓ツ野ノ皇女ヒメミコ ○草壁クサカベ皇子ノミコ ○忍壁オサカベ皇子ノミコ ○

縣アカタニイマカヒ犬養イヌカヒ 姓也名ハ大伴 ○倉卒クラソツ ○津振ツブリ川カハ 大和國 ○横ヨコ

河ガハ 伊賀國名張郡 ○竟ワタル天テニ 紀ニ經天ニ作ル ○舉アケ燭シヨク ヒヲトモス也 ○兼トツ

式シキ占セン 式ハ式也吉凶ヲ占ノ器ノ名旋杖ト云フ ○薊菽タラ野ノ 伊賀國伊賀郡 ○積ツム

殖ユキ山口ヤマグチ 同國阿部郡 ○民タミノ大オホ火ヒ ○赤塗アカヅメ德足トクタリ ○大オホ

山ヤマ 今ノ鈴鹿越ノリ ○守カキ 長官 ○次スセ ○三輪ミワ子コ首ヒト ○

田タ中ナカ足麻呂タリマロ 稻目 ○朝明アサケ郡ケ 伊勢國 ○迹ト太ホ

川カハ 今朝明川ト云フ ○監カン 監察也イクスルメツケラスル ○小コ子コ部ベ鉏サ鉤ビ

○野ノ上ガミ 美濃國不破郡 ○撫ス背セ褒ホウ慰イ ○總サツ統トウ 總督也スベツカサドル

○和ワ暫サミ 美濃國各務郡 ○坂サカ上ノ熊毛クマゲ ○漢アヘ直チ前マヘ ○稚ワカ

狹サ王ヲ ○賀カ茂モ蝦夷エミシ ○諸シヨ豪傑カウチツ ナミスクレノ人々知過百人者謂之豪千

入者謂之傑 ○裨ヒ將セウ 副將ナリ ○大オホ坂サカ 大和國葛下郡 ○石手イハデ 河内國石

○平ヒラ石野シノ 同郡平石村 ○望風ノゾム遁ノケル ヤウスヲミテノガル ○紀キ

阿閉アヘ麻呂マロ ○書根シブネ麻呂マロ ○以モチ赤セキ為ナシ幟シト 赤色ヲ以テシ

○倉歷クラレ道ミチ 近江國甲賀郡 ○自潰クワイン而逃ニケル ○入イリ越コシ

○倉歷クラレ道ミチ 近江國甲賀郡 ○自潰クワイン而逃ニケル ○入イリ越コシ

越國ニ
○田邊タナベ小隅コスミ○墨坂スミサカ大和國大和國宇陀郡宇陀郡○金網井カナツナ井井

大和國大和國○奏捷ソウスセツカネイタクサヲ
高市郡高市郡○飛鳥淨見原宮アスカノキヨミハラノミヤ大和國大和國高市郡高市郡○不破關フナヒ關關

美濃國美濃國○登極トウキョク御即御即○白金シロガネ銀也銀也○占星臺センセイタイ所謂所謂天文天文

不破郡不破郡○美濃王ミノノミ栗隈王栗隈王○佐伯廣足サヘキノヒロタリ○新嘗ニヤウオホムベ

也也○龍田立野タツタノタチノ大和國大和國平郡郡平郡郡○風神カミ神神

ト訓ス大嘗祭ナリ古クハ大嘗新嘗迄シ云フ
天御柱國御柱神社ニ座本史同日大忌
神ノ廣瀬ニ祭ルヲ載ス蓋脱セルナリ

右ニ國ヲトシシ左ヲ齋ト云ヒ右ヲ次ト云フ
○卜定國郡ウラナヒクニ郡郡作七地ヲトス

訶沙郡カサ○並食ナミ食食トアリニ
アルヲ以テ朔日ノ儀式ヲ行ハス也
射ヒキ古史イタハスト訓ス弓イルナリ
○南門ナンモン建禮門也建禮門也

大射オホイリ射禮ト云フ桓式トナレリ
○龍田山リウテンヤマ大和國大和國平郡郡平郡郡○大技山オホエヤマ

山城國ヤマシロ○羅城ラジヤウ外大城也トアリ外タルハ又總タルハ
○繕修センシュ修修覆覆スルヲ云

毛野三千ケノミヤミチチ○撰帝紀及上古以來事センテイキキヨクヨリコトヲ御代御代々々

又上オホ古ココノカタノ事ヲ撰ビ書シメタルナリ
○服色制度フクシヨクキト本史禁式本史禁式九十九十二條ヲ立トアリ
○上オホ上上

意見イケン思ヒ々ノミコミヲ申上シムルナリ
○新字ニニジ所謂和字ナリ
○結髮クツハツ髮髮ヲ

結ツッツ著漆紗冠ツクニツサクラニ所謂幞頭冠フツトウカウヲ云フヲ云フ鬘ウツニニ中ナカ子コヲヲイイレレ

○著漆紗冠ツクニツサクラニ所所謂謂幞頭冠フツトウカウヲ云フヲ云フ鬘ウツニニ中ナカ子コヲヲイイレレ
○漆紗ツクニツサニニテテツツ、ミミ端ハタヲヲ後ノチニニ無ムルルナリナリ

アブル
○行間
カウカン
ノアヒダ
○容貌魁岸
イコウバウクワイガン
○音辨俊
オンビョウシユ

朗
ミコエスグレテ
ホガラカナル
○放蕩不羈
ハウタウフキ
ヤリハナシニシテ法度
ニ拘ハラザルナリ

○鼻身下士
イナシミラ
ルカシニ
水書降節
○行心
ギヤウシン
○卜筮
ボクベイ
○骨
コツ

法非常
ホフホウ
本書不是人臣
之相トアリ
○勸作逆
カンサクギャク
行心ガムホンヲ
マメタルナリ

譯田驛舍
ワサダノイ
本史譯田舎ニ作ル皇子ノ
所居ナリ城上郡ニアリ
○金烏
キンウ
日輪
ヲ云

○鼓聲
コセイ
トキノツミ
○泉路
センロ
泉ハ黄
泉也
○賓主
ヒニシユ
客ト
主也

國忌齋
クニサマ
國忌齋謂先帝崩且也天智帝ノ齋會
ヲ云フコレヨリ代々恒式トナレリ
○卯杖
ウツエ

卯ノ日奉ルヲ以テ卯杖ト云フコレヨリ
○築射場
キツツ
ニテヤウマノ場

○田中法麻呂
タナカノホウマロ
○點其民四分之一
テンシキタミシヨクノイ
四分ノ一

講習武事
コウシブス
國毎ニ人民四分一ヲ點シテ
武事ヲ習ハシム所謂徵兵ナリ
○服色八等
フクシヨクハツク

淨大壺以下廣貳以上黑紫淨大參以下廣肆以上赭紫正八級赤
紫直八級緋紫八級深緑務八級淺緑追八級深縹進八級淺縹

○多治比島
タヂヒシマ
○多治比古王之子
タヂヒコウノコ
上殖葉皇
子ノ孫

○大伴部博麻
オホトモノハカマ
○異域
イキ
外國
ヲ云
○備嘗難苦
ツクナシカク

○免冠極諫
メニカン
冠位ヲ朝廷ニサシ
アゲオシキツテイ

○奴皂衣
ヌサウイ
良家ニ属スル民ヲ奴ト
云フリゾメハ黒色ナリ

○陳法博士
チンハクセ
軍學ノ
教師
○鑄錢司
チウセンシ
○桑紵
サウチヨ

藤原宮 大和國高市郡 ○良琳 ○踏歌 新年ノ祝詞ヲウタヒテ舞ヲ奏スル也

男踏歌 踏歌ノ別 ○建儲 ○紛紜 ○葛野皇子 ○開

國以來 本書ニ我國宗爲法也 ○仰察天心焉得

能測 本書誰能敢測ニ作ル天祖ノ神慮 ○推之人事

聖嗣 自定誰敢問然 人事ヲ以テ之ヲ推シテミテモ聖嗣ハ自ラ定テアルナレバ誰カ

ス、ンデソムクヲ ○弓削皇子 天武帝ノ九子

文武天皇

小名 ○珂瑠 謚號天之眞 ○善治 修理ス ○大野

豐後國 ○基肆 肥前國基肆郡 ○鞠池 肥後國菊池郡 ○博戲游

手之徒 博奕雙六ナドシテ遊ヒ ○役小角 賀茂役氏

役行者 ○咒術 ○葛木山 葛上忍海葛下三郡ニ ○絶

粒食 穀類ヲ喰 ○韓國廣足 ○師事 ○誣

妖妄 本史妖惑ニ作ルアマシキワ ○見配流 流罪

多褻 種ガ ○夜久 前ニ ○菴美 或ハ深見ニ作 ○度

感 或ハ慶丸歸ニ作 ○蓄兵器 ○道照 舟史惠 ○栗

原 十市郡 栗原村

論 衾 死者ニ着スル服ナリ ○ 棺 槨 棺ハ内棺 槨ハ外槨 ○ 殯 殮

尸ヲ棺ニ入ル ○ 流俗 相承 恬不知怪 恬ハ安也 火葬ニナレマス

置ク間ヲ云フ ○ シテアヤシキ トトモ思ハヌ

玄禁三藏 唐ノ太宗ノ世ノ僧ナリ ○ 禪定 禪道 ○ 綢游

○ 諸津濟處 沃タリ場 ○ 宇治橋 宇治郡 ○ 牧

地 牛馬ノ牧場ナリ ○ 淨大參 冠位 ○ 忍壁親王 天武九子 ○ 製

直廣壹 冠位 ○ 不比等 律令 大賢令ナリ ○ 製

衣冠司 衣冠ヲ製スル職 ○ 大極殿 最大殿 大安殿 ○ 儀衛

嚴整 ○ 蕃客 外國人 ○ 階位 其階 ○ 文物 儀仗

本ニ就テ ○ 釋奠 孔子ノ祭也 ○ 改制官位 親王明冠四階 一品アリ四品

マデ 諸王淨冠十四階正一位ヨリ從五位下マデ合セテ十八階 ナリ 諸臣正冠六階直冠八階勅冠四階務冠四階追冠四階進冠

四階正一位ヨリ初位マデ三十階ナリ ○ 停賜位冠 易以位記 是マデ

賜ヒテ位階ノミルシトシタルヲコレヨリ改メテ位記ヲ賜フ ○ 定服色制 深紫 赤紫 緋 淺紫 緋

深綠 淺綠 深縹 淺縹 八等ナリ ○ 阿陪御主人 布勢麻呂 古ノ子 ○ 優

ヒシラ ○ 靈壽杖 靈壽ハ木ノ名 ○ 如也 ○ 武漏温泉

紀伊國 ○ 受朝 元日ノ朝賀ヲ受ルナリ ○ 度量 度ハ尺也 サシ

日量マ ○采女カネメ 宮中二事フ
スナリ ○兵衛ヒヤウエ 宮中守衛ノ
ル女官ナリ 兵隊ナリ

○大伴安麻呂オホトモヤス 長徳ノ子 ○粟田真人アハダノマヒト 天足國押

○民部尚書ミンブシヤウショ 民部卿ナリ尚書ハ卿ノ唐名 ○左大辨サダイベン 宮中事大辨所執行トアリ

○高橋笠間タカハシカサマ ○岐蘇キソ ○知事チジ 大政官ノ事務ヲ總括スル也 ○

石上麻呂イソノカミマ 宇麻呂ノ子 ○跪伏之禮クワイフツノレイ ○長安チヤウアン 唐ノ都名

○武后ブコウ 則天武后ツクテンブコウ ○麟徳殿リントクテン 唐朝ノ殿名 ○唐廷タウテイ 唐ノ朝廷

○温雅ウンガ オチツイテケダカキコ ○重制チュウセイ 前ニ結髮ノ令アリシニ重テテ制ヲ立ルナリ ○神カミ

部トモ 神事ニ奉任スルツカサ ○齋宮サイキウ 齋宮ノ人 伊勢ノ齋宮ノ宮女ナリ ○老嫗ラウエン

鬢髮ヒツパツ 結ブフ云フ ○九京大夫クウキョウダイフ 京ト云大夫ハ長官也

○奉規ホウキ 箴規也正 君曰規 ○田租法テンソウハフ 一町二十二束ノ法ヲ改メ減ジテ十五束一定ム蓋大

化以前ノ舊制ニ復シタル也 ○作土牛大儺ツクリドギウラタイダニ 土牛童子ノ像ヲ造リ諸門ニ立テオニヤラヒスル

也公事根 源ニ委シ ○飛鳥岡トビノカノヲカ 大和國高市郡 ○大寶ダイホウ ○慶雲キヤウウン

天姿寬仁テンシケンニン ○經史キョウシ 經史書 ○阿閉皇女アヒノミコ

元明天皇ゲンメイテンノウ

天智帝第四女テンチダイシヨ 第一大田皇女オホノタノミコ 第二鸕野皇女ウノノミコ 第三御名

部皇女ウベノミコ 第四帝小名阿部皇女アベノミコ 謚号倭根

娘蘇我山田石川麻呂之女也

論

幹父蠱

也易蠱卦幹父之蠱

アリ

台司三公

象天之三台

家戚里而世鼎鉉

政事ヲ自由ニシテ賞罪與奪ノ權

星也トアリ

環濟要略云三公者

威福之柄

功勞アル臣ヲ

象禹三足共承其上也

攝關

待功臣

功勞アル臣ヲ

ラエタ

攝關

待功臣

功勞アル臣ヲ

前失

未

然

然

巨勢麻呂

大海ノ孫

鎮東將軍

佐伯

石湯

大伴室

征狄

紀諸人

凱旋

軍ニ勝

ナリ兵

平城

乃樂

左右京坊

坊ハマチ也東

置タル

興福寺

山階寺

百濟大寺

大官大寺

官一ニ宮

挑文師

掌挑錦綾羅等

鷹居社

八幡大神

風土記

地誌ノ類

スルモ

紀清人

三宅藤麻呂

撰國史

和銅

四十三代

元正天皇

冰高

新家

謚號倭根子高瑞淨足姬尊天

置和

泉監

河内國三郡ヲ割テ別ニ監司ヲオ

志貴親王

天智帝
ノ七子
○薄紗ハクサ 紗似絹太シラ
○羅幘頭ラボクトウ 今ノ冠ハ幘頭ウスマノカウリノウツリ也

當耆郡カキノホリノシ 體泉シム ○樵夫セウウ ○驚薪ヒサクダキ 薪ヲ ○嗜タシム 好也 ○提ヒキ

○餘シヤ 乞也不交錢乞也 而買日餘而買日餘 ○薪シン 燠ユウ 夕タキミ トリ

○墜巖谷之際オツガン ○回顧クワイコ ○涌出ユウシュツ ○

芳烈ハウレツ 甘美カンビ ○富饒フニョウ ○道首名ミチノオビトナ ○曉習吏事ケウシフスリ

○勸厲クワンレツ 生業シヤウ 教督ケウツク 耕種ケウシュウ ○菜果サイクワ ○

○時躬ヨクミ 按行アンカウ ○輒ズクハツ ○譴責ケンセキ ○怨罵エンバ ○

○陂池ヒチ ○灌漑クワンガク ○味生池アサヒ ○

郡シラ 平郡ヘイ 安秀アンシウ ○石城國イハキ 石城イハキ 標葉ヒラカ 行カク ○石背國イセ

津安ツアン 嶺リョウ 信夫シンブ ○右社ミキミ 是ヨリ以前ノ一是ヨリ以前ノ一 ○職事シキジ 在官ノ人在官ノ人

○執笏トシヤク ○按察使アンセカシ 便宜ノ國守兼帶ス所便宜ノ國守兼帶ス所

○婦女服制フメヨ 本史制定衣本史制定衣 ○渡ワタリ

島シマ 北海道ホクカイ ○津輕ツキガレ 渡島國ワタリ ○鞆カマ 鞆カマ 古肅慎之地コソシムシノチ

○治チ 所シヨ ○渤海大祚榮ホクカイノオホソノ ○爵命シヤクメイ ○歲泊サイハク

沃沮高麗扶餘挹婁ヨクソノコクリノフソノイフソノ 以上國名ミナ以上國名ミナ ○一品イツポン ○

高麗ノ別種高麗ノ別種 ○

五十九

舍人親王 天武帝第三子 ○日本紀 ○文忠 ○武智

麻呂 ○房前 ○宇合 續紀馬養ニ作ル ○麻呂 ○南

家 ○北家 ○式家 ○京家 ○上毛野廣人

○丹治比縣守 島ノニ子 ○阿倍駿河 ○長屋王

高市皇子 ノ長子 ○諏方國 ○靈龜 ○養老

聖武天皇

美麻斯 美麻斯ハ續紀ノ宣命ニヨリテ誤リタルニテ御諱ニ非ス實ノ御名ハ首謚號ハ天鹽國押開豊櫻彦尊

○夫人 名ハ藤原宮子媛不比等之女令ニ夫人三員右三位以上トシエタリ ○大掾國ノ

○佐伯兒屋麻呂 ○帛絕綿布 ○小野

牛養 ○土師豐麻呂 ○玉津島 名草郡 ○弱

濱 ○明光浦 所謂和歌ノ浦ナリ ○淳朴 ○冬穴夏巢

○壯麗 ○板屋草舍 ○彈

堪營辨者 有カニシテ造營ノテキル者 ○塗以丹堊 ○鎮守

將軍 鎮守府將軍ノ始也 ○大野東人 果安子 ○多賀城

陸前國官城郡 ○邊寇 遠隣 ○印南野 印南郡 ○大武

藝 ○啓 ○異域 ○延聽風歎 風歎ハ風教道德也 ○傾

中臣名代ナカハミノナニロ 島麻呂シマアサヒ ○大膳職ダイゼンシキ 臣下ニ賜フ饗膳ヲツカサトルツカサ ○

孟蘭盆供ウツラハシバ 養ヨウ 供コウ ナリ ○恒典コウテン 常例ジョウレイ ○觀歌垣ミルウタカキラ 列立レツテイ 男女

歌舞如垣カブキヨウケン ○縱觀ジョウケン ○相撲戲スマヒキ ○朝猶アサユ ○豌豆マメ 故曰歌垣コトヘトウカキラ

瘡サウ ○大般若經ダイハニヤキヤウ ○國分寺クニワケジヤ ○邊塞ヘノセ ○大養ダイヤウ

防人サキモリ 令曰兵士戌コトヘトウヘイシウ ○鈴鹿王スズカ 高市皇子タカシノミコ ○美努ミヌ

德國トクニ ○橋諸兄ハシダニモロエ ○難波皇子ナニハノミコ 敏達帝ミチタテ ○不ス

王オウ ○葛城カヅラキ ○祇承シヨウ 頗怠ハルマダ 晝日祇承于帝シラヒニシヨウノミカドニ ○鴉ア 瑠嘉耶摩ルカヤマ 珂藝カゲ

散倍美史サンベイミシ 類也ルイナリ 滿濃マンノウ 為濃ニハル 鴉ア 瑠ル 珂カ 藝ゲ 手テ 倭ヤマト 禮レ 母モ 波ハ 難ナニ 久ク 爾ニ ○解トキ 顏カノ 酣カマシ 飲イ 極トク 歡カシ 顏カノ

忽コト 和ニ ラニ ギニ 充ニ 分ニ = 酒ニ フニ 酌ニ ○崑崙コンロン 印度インド ○欽茂チンボウ ○

若ニヤク 忽コト 州シウ 都ト 督トク 忠武チュウブ 將軍シヤウジン ○胥シヨ 要ヨウ 德トク 人ニ ○

雲ウン 麾キ 將軍シヤウジン ○己コ 珍チン 蒙モウ 人ニ ○杏コウ 絕ゼツ ○負ケイ 遙ユウ

佇チヨ 望ボウ ○天テン 皇ワウ 聖セイ 殿デン ○退トイ 暢チャウ 帝テイ 德トク ノトニ ホクニ 海カイ

○濫ラン 總ソウ 前マエ = ○澤タク 流リウ 萬マン 姓セイ 王オウ 澤タク フ人民ニ 一般ニ

○義ギ 洽チャク 情深シンシン ○修シウ 鄰リン 好コウ 風フウ 濤トウ ○

皇明史略卷之三

優賞イユウシキヲアツクモ
○行資カウシ旅費也
○大蠱タイタク虎トヲノカハ搜神記曰扶南王
范尋養虎於山有

犯罪者投與虎不噬乃宥
之故虎名大蠱亦大靈
○罷皮ニワヒ○人參ニシ○蜜ミツ○紀キ

飯麻呂イヘマロ○才幹サイカンハタラキヲ云フ
○委昉ウヰ○内道ウチノミチ

場シヨウ宮中ニ属スル
寺院ヲ云フ
○寵遇ケウウ寵愛ノア
○醜聲シウセイ風聞アシキ

○吉備真備キビノマキベ○不協フカウ不和ニ
同シ
○斥セキ○姿色シヨク美ナ

ルヲ
○營エイ陣營也
○遠河郡トウカノ筑前國

烽燧ホウスイ○暴白バクハクアラハニ云
ヒタツル也
○網手ツツテ○鏡廟キョウ○經キョウ

略リョクヒラキサ
○山背相樂郡ヤマトノサカ恭仁鄉
○大養オホヤウ

德恭仁大宮トクキョウニノミヤ○雨赤雪アメニキユキ○造宮ツクリノミヤ○智勢チセイ

王オウ長親王
ノニ子
○紫香樂宮ムラサキカガキノミヤ近江國
甲賀郡
○盧舍那佛ロツセナノブツ○

鎮西府チンサイフ○石川加美イシカワノカミ○大伴百世オホトモノヒヤクニ○功竣コウジュン

竣成也ジュンセイ也デ
キアガル
○甲賀寺カガノテラ○本曹ホンソウモトノツ
メシヨ
○王孫オウソン

紀キニ孫王ニ作ル親
王ノ子孫ヲ云フ
○太上皇オウソウ元正天皇ナリ
○黃金オウゴン○神カミ

龜カメ○天平テイヘイ○天平感寶テイヘイカンホウ○行基ギョウキ姓高志氏
和泉國人

三寶サンポウ奴ヌ○菩薩戒ボサツカエ菩薩十戒ノ一
釋氏要覽ニ出
○鑑真カンジン○

勝寶感神聖武皇帝シヤウホウカニシニシヨウム

皇明史卷之三

孝謙天皇

阿倍アヘ 媛ハ光明皇后 藤原不比等之女

○紫微中臺シビ 中務省

○仲麻呂ナカマロ

呂ロ ○紫微令シビ 令ハ卿

○清河キヨカハ 房前ノ

○越チ 進退

ノ形容

○君子國クニ

○接伴セツバン

○鴻臚卿キョウロ 外務卿

○魏キ

朝衡テウカウ 仲麻呂ノ唐ニテ

○蔣挑シヤウテウ 腕ワン

○揚州ヤウヂウ 地名

○魏キ

方進ハウシン

○供給キョウキョウ モテナ

○金泰廉キンタイレン

○慕施蒙ボウシモン

賚國サイクニ 信物シンブツ

○闕庭ケツテイ 朝廷ニ

○虔ケン 敬也

○寶圖ホウト 天皇ノ御

位イ ○高毒黎カウドクシ 黎シ 高毒黎ハ化育ナリ黎

○照臨シヤウリン 八極

嘉尚カウシヤウ

○來啓ライケイ 上表ニ

○高氏カウシ 高武王

○朝チウ

聘之恒式ヘイノカウシキ 入朝聘礼ノ例式也

○忠款チウクワン 款誠也

○貞節テイセツ 節操

寵命之隆チヨウメイノリウ 寵遇ノア

○指宣シ 往意ワウイ 先例ヲ指示ス

大寶タイホウ 唐ノ年号十二歳ハ

○含元殿カンゲンテン 唐朝ノ殿名大明宮

西畔セイハン 西側ト云ガ如

○吐蕃トバン 本西卷之屬

○大食ダイシキ

致仕チシ 職ヲ辞スル

○中務ナカツカサ 官中統領之重職也

○道ミチ

祖王ソウオウ 新田部親王ノニ子

○怡土城イソヂ 京像郡

○淫戲無度インキナシ

○大炊王オホヒノ 舍人親王セネノ 七子ナナコ ○真從マコトヨリ ○發ツクリ

居キヨ 發ツクリ 寒婦也サムイメノメ ○孝經コウキヤウ ○誦習シヨクシフ ○紫微シビ 內相ナイミヤウ 八內ハチノウチ

大臣オウシ ○奈良麻呂ナラマロ ○發幸ハイクニ ○黃文王オウブン 長屋ナガヤ

○安宿王アスカベノ 長屋王ナガヤノ ○山背王ヤマシロ 長屋王ナガヤノ ○上變アゲヘンラ

變事ヘンシ 申ウケテ ○高麗福信コウレイフクシン ○太宰タイサイ 員外師イノソウ 大臣オウシ 人罪ヒトツミ アル

時トキ 員外師イノソウ ○寬厚クワンコウ ○時望ジボウ 人望ヒトノゾク ○中傷ナカウケ

乙繩オトナハ ○上臺寶字ジヤウタイホウジ ○天平勝寶テイヘイショウホウ ○天平寶テイヘイホウ

字

甲辰 淳仁天皇

大炊オホヒ 母ハハ 八ハチ 當麻トウマ 山背ヤマシロ 上總守カミノ ○草壁クサカベ ○岡宮オカミヤ 天皇テンノウ

○石川年足イシカハノトシタリ 安麻呂アスマロ 孫ノミコ ○乾政官ケンセイカン ○大師オウシ

大傅オウフ ○太保タイホウ ○御史大夫オウシシ ○坤宮官コンミヤカン ○大オウ

尉キ ○惠美エミ 勅オウ 曰イハレ 汎惠之美莫美ヒラキニ 於斯ココ ○押勝オシカツ 禁暴勝キンボウショウ

靜亂シヤウラン 故名ナリ ○尚舅シヤウキヤウ 朕舅之中汝卿ニ 良トク ○功封コウホウ 紀功キコウ 封三千ホウミヤウ

戸トアリ功アル ○功田コウデン 紀功田一百町トアリ ○舉コト 稻官コウカン 稻コメ

ツケテ利ヲ收 ○小野田守コノノノモリ ○安祿山アンロクサン 姓セイ 康宗コウソウ 軋アツ 犖レツ 後姓名ヲ改

メテ安祿 ○狂胡 祿山ヲサス胡 諸國公
山ト云フ 種ノ人ナレバ也 常平倉 蘇籀ヲ

ワリ出サシメテ積オキ米價貴ケレハ賤賣シ賤ケレハ貴買シテ穀
價ヲ平均ニシソノ得ル所ヲ以テ諸國調庸ヲ運フ人夫ノ飢餓ヲ救
フ爲ニ ○平準署 常平倉ヲ掌リテ物價ヲ平均ニスル役所
設ク

南海西海四 ○崇道盡敬皇帝 ○行軍式 陣立ノ
道右掌之

授刀衛 授刀舍人ヲ總 括スル役所 ○右虎賁衛督 虎賁ハ近
衛ニ同シ

○仲石伴 ○石上宅嗣 乙麻呂 ○高麗大山

○儀鳳曆 唐ノ儀鳳中ニ成 ○大行曆 唐ノ開元年中ニ
成ル四テ開元大

行曆ト云フ吉 道鏡 弓削氏也志貴親王ノ 保良宮 近江
縣真備持歸ル 子トスルハ非ナリ

督スル役 ○慈訓 ○爲都督云々等國兵事使 兵事
ニ在

○試兵之法 兵士ヲシケ 日下部子麻呂

○佐伯伊多智 ○氷上鹽燒 親田部親 五ノ二子 ○真

光 光一ニ先 朝獺 ○藏下麻呂 宇合ノ 五子 ○愛發

關 越前國 敦賀郡 ○狼狽失據 ○鹽津 近江國 淺井郡 ○三尾

崎 ○佐伯三野 ○大野真本 ○疲頓 頓 頓

勝野鬼江 高鳥郡 ○盡銳距戰 銳利ナリ ○石村

石楯 ○和氣王 舍人親王ノ孫 御原王ノ子 ○山村王 用明帝孫 久米王子

皇明史略更蒙卷三

六十六

○中宮院 續紀ニ平城中宮院トアリ

四十六 稱德天皇

萬機 政事ヲ云フ ○近衛府 ○内院寮 ○三原王

三ノ字ナキハ脱セルナリ ○紀益女 ○巫鬼 ルカシキワサス ○賂

○粟田道麻呂 ○大津大浦 ○畏禍及 ハヒ

ノキタルヲ恐ル ○率川社 大和國添上郡 ○玉津島 海部郡 ○動

靜 ○憂憤 ○計六國所點防人所欠之數 六國ヨリ出シタル防人ノ欠タル數ヲ計リ東國ヨリ

志斐氏 ○勘問 ル ○基真 ○咒縛 咒術ヲ以テシ

1 ○説人陰事 ヒソカニ教ヘテ世ニシレザル人ノ事業ヲ云ヒアラハサシムルコト ○數

顆小珠 紀ニ數粒珠 ○舍利 釋云骨身又靈骨トアレ臣實ハ一種ノ石也本草書ニ委シ

○眩 マダク ○為已瑞 己ガ祥瑞トナサン ○諷帝 諷ハス、メソ、ノ

カスナリ ○有容貌 カタチノヨキ ○服金銀朱紫 金銀一ハカ

ガリ朱紫 ハ色ナリ ○幡盖 ○法王位 ○圓興 ○準 ○

供御 天子ノオマカナヒカタ ○鑾輿 天子ノ ○擬 ○文宣王

唐ノ開元七年追謚 ○膳大丘 ○狂虐 暴威ヲフル ○朝貴 朝憲貴人

○凌突リヤトツ 凌侮也 ○主神カムツカサ 令義解曰掌 諸祭祀事 ○中臣習宜ナカトミシヨ 廣出

阿曾麻呂アソバロ 昔宣ヲスギト ヨムハ非ナリ ○媚附コビツク ○法均ホフクン 各ハ ○

瞑目按劍イカシシラ アンシケシラ オホザトヨナガ ○路豐永カイビヤク ○開闢カイビヤク 以來君臣分

定矣サダメリ 天地ヒラケテヨリコノカタ君 臣ノ名分定リテフルト云フ意 ○天日之嗣アマヒ 必立ツキハカラスタテヨ

皇緒クウシヨフ 天皇ノ御位ハ正 統ヲ立ヨトナリ ○剪除センシヨ キリクダ ○收罔キバウ 必立 ○別部ワケベ 穢キヤク

麻呂マロ ○百川モウカハ 宇合ノ 四子 ○忠烈チュウレツ 剛正 曰烈 ○飽浪宮アツナミツミヤ

其所在未詳 ○由義宮ユウギミヤ 河内國 若江郡 ○河内職カハチニキ 京職ニ 準スル也 ○三

層小塔ハウセウツ 三層ハ 三輪也 ○狎褻カフセツ ナレチカツキテ ○天平神テンペイカミ

護神護景雲 ○定策策冊ニ同シ大 專畫之策

四代 光仁天皇

白壁シラカベ 謚號天宗高紹尊御母 攝媛紀朝臣諸人之女 ○參議サンギ 諸官之中四位已上其 才之人奉勅參議官中政

之意 ○永手ナガテ 房前 二子 ○別當ベツタウ 本務アリテ又別ニ 均當スル職ヲ云フ ○弓削ユキノ

淨人キヨヒト ○廣方ヒロカタ ○布衣フイ 人也 ○皇考クワウカウ 禮記曲禮曰死曰 考トアリ帝ノミ

春日宮天皇カスミヤノミカド 又田原天皇 ト稱セリ ○井上内親王イノノネノサカヒ

聖武帝セウブテウ ○遣唐留學生ケンタウリウガクシヨウ ○船守フナモリ ○聰敏ソウミン ○該ガイ

識シキ 該ハ備 也兼也 ○玄宗ゲンソウ 唐ノ天子 名ハ隆基 ○左補闕サホクケツ 唐ノ 官名 ○

儀王 名ハ球玄宗ノ十二子

○秘書監 官名

○衛尉卿 官名

王維 字摩詰

○包佶 字幼正

○趙驊 字子華

○漂泊

○安南 交趾東京ノ地

○為漂没 海ニ沈ミシト思ヒシ也

○哭 コク

宗 名ハ享

○擢 拔也

○左散騎常侍 仁明紀ニ右散騎兼御史

○代宗 肅宗ノ子名ハ豫

中丞ニ作ル

○安南都護 都護ハ按察使ニ同シ

○雖榮貴思歸不

○言及鄉國未嘗不

○潞州大都督 大都督ハ元帥ナリ

○已 富貴ニ至レリトイヘル日本ニ歸リタキ心ハ常ニヤマトナリ

○為絕唱 ナスベツシヤ

○他戸親王 帝ノ弟四子

○大中臣清曆

名歌ナリトホメル

意美曆

○良繼 字命子

○山部親王 桓武帝也

○滯

○恣 ホシイマハニミダリナル

○惑溺

○奕賭 雙六ナドヲ賭クモノ

○責

○輸 賭モノヲセムル也

○慙沮

○悔恨

○咒詛

○推問得

○實 シツラ

○奏請

○暫 シヅカ

○幽 オシコメル

○縫殿寮 又ヒモノヲ掌ルツ

○使自思過 シタトシガフオモハク

○宣命 詔詞

○傳宣 宣命ヲ傳ヘル

○俊 アラタム

○遠

○驕

○固

○宜廢黜 ヨコシクハイチラス

○辭氣甚厲

○濱成 ハマナリ

○稗田親王 帝ノ三子母ハ尾張女王

○令聞夙著

聖斷 セイトン 帝ノ御 決心也 ○ 誠悃 セイコン 悃ハ絶

論 傾險 ケイケン 邪説也危僻也本ス ○ 鄙褻 ヒセツ 鄙ハ陋也褻ハ嫌

○ 姦邪 カンジャ ○ 巫蠱 フコ 左道ヲ以テ人ヲ蠱惑スル

欲知閭巷風俗細碎之言故云一 ○ 小說 セウセツ 街談巷説曰 ○ 綠飾 エニシヨク

傳會 フカイ ○ 權變譎詐 ケンベンケツサ 權ハ謀也變ハ易也ヘン

○ 野史 ヤシ 小説物 ○ 汚蒙 ウカ 汚ハ穢也蒙ハ

誣説 ウケツ ○ 可慨也夫 ベキガイスカ 大伴駿河磨道足 ○ 下

疫神 エキジン 除疫ノ神 ○ 研究經史 ケンゲウキョウシ 研究ハ

道國勝 ○ 研究經史 ケンゲウキョウシ 研究ハ

ル也紀ニ 渉ニ作レ ○ 播青宮 ハクキョウ 東宮ニ同シ 太子ノコト ○ 累遷 ルイセン 累疊也カサ

スル ○ 依習禮典 ヨリカニガレイトンニ ○ 禮容可觀 レイヨウケン 礼式ノ著

其必走 ヒツソウ 必走ランコトヲハカリカネ ○ 指麾 シキ 指圖

分 兵士ノワリ ○ 禪補 ゼンポ ○ 小野石根 コノイハネ 老ノ

神未足 ○ 佐伯今毛人 サヘキイマケヒト ○ 持節行大使事 チセツコトヲ

節ハ朝廷ノ御 ○ 魚名 ウナナ 房前ノ 五子 ○ 趙寶英 テウホウエイ ○ 覆没 フクボツ

船ガクツガヘリ ○ 孫興進 ソンキョウシン ○ 器度 キド ○ 累歷顯要 ルイリケンウ

皇朝史略更張卷四

七十一

頭職也

治郡所在未詳栗原郡伊治村ノ地カ

○大領ダイリキヤ

○伊治砦麻呂イヂノアザマロ

砦ニ

作ルハ非 ○紀廣純キヒロズミ 廣ノ孫宇美ノ子

○繼繩ツグタタ 豐成ノ二子

○益立マスダテ

古佐美コサミ 宿奈磨ノ子

○真網マツツ

○家磨ヤカマロ

○小黑磨クロクロマロ 鳥養ノ子

○寶龜ホウキ

○天應テンオウ

四代

桓武天皇

山部ヤマベ 謚曰本根子望統彌殿尊世又柏原帝トモ祢ヒリ

○高野氏タカノノウヂ 名ハ新笠野大政大臣乙繼之女

○早良親王サハラノミコ 帝ノ同母弟

○氷上川繼ヒナカミノカハツツ 繼ノ子 鹽麩王

○貶

黜 ○坐事免職セラル

○田磨タノ 三子

○是公トモ

初名黑磨乙磨ノ一子

○大伴家持オホトモノヤクモト 旅人ノ子

○文屋與企フムヤノヨシキ

長親

王ノ ○長岡ナカガキ 山城國

○淡海三船アハミノミフネ

○池邊王イケノヘノミコ 野

王ノ ○大學頭ダイクウノカミ

○文章博士ブシヤクノハカセ

○種繼タネツグ 宇合ノ孫

○搜索ソウソク

○捕獲ホクワク

○大伴繼人オホトモノツグヒト 磨

子ノ ○近衛チカノエ

○伯耆掾磨ホクノイカクノマロ

○中衛チカノエ

○牡ウシ

鹿木積麻呂シカノコノツミマロ

○大伴竹良オホトモノタケラ

○右大辨ウデノダイベン

官

石川名足イシカワノナタリ 年足ノ子

○乙訓寺オトクニノテラ

○宮内卿ミヤノウチノキミ

○石イシ

川垣守カキノケ ○高瀬橋タカセノハシ ○親任シンジン ○中外機務チウウカイノキム 内外トモ

大事ノシトメム ○裁決サイケツ 裁斷也決定也 ○祀天神於マシルテンジンヲ

交野カタノ 天神ハ異天上帝ヲ云フ續紀ノ祭文ニ見ルナリ ○紀古キコ

佐美サミ 宿奈磨ノ子 ○最澄サイチヨウ 三津百ノ子 ○根本中堂ホンノチウダウ 曰一衆止觀院

○比叡山ヒエイザン 近江國志賀郡 ○延曆寺エンリヤクジ ○天台國清寺テンダイコクセイジ

浙江台州府ニ在リ ○道邃ダウスイ ○逗遛トウリウ トコホリ進マ又ト遛不進也 ○池田イケダ

真牧マヒラ ○安倍黑繩アヘノスミナハ ○道守東人ミチノモリアツマト ○弟麻呂オトマ

古慈斐コジヒ ○百濟俊哲ヒョクサイシュンテツ 敬福ノ子 ○丹治比濱成ニハハナリ

坂上田村麻呂サカノエノラマロ 前田磨ノ子 ○小黑麻呂コクロマロ 鳥養ノ子 ○葛クサ

野郡宇多村ノノリウタノムラ ○築新京宮城キツクシンキョウミヤノキ 所謂西京ノ地 ○改山カヘヤマ

背為山城セノカサヤマ カク詔シ玉ヘトモ行ハレズ文字 ○白玉帶ハクキヨウタイ

白玉ニテ製レル帶ナリ ○東宮傳トウキョウデン 傳カシヅキト訓ス扶佐之職也 ○烽燧ホウスイ ノロシ

○備不虞ホフフ 不慮ニ事起ラシテ用意也 ○隆平永寶錢リウヘイエイホウセン ○管カン

野真道ノノマチ ○續日本紀シヨクニホンキ 文武天皇元年ヨリ桓武天皇延曆十年ニ至ル四十卷アリ

○隸太宰府レイサイザイ ○神王シウワウ ○榎井親王エノイノチノ ○玳瑁タイモウ

帶タイ 玳瑁ニ製ル帶ナリ ○抗直カウチヨク 抗捍也ツヨクナホキヲ云 ○匪躬之節ヒコウノセツ 躬ヲ

顧ミズ忠節ヲ盡 ○練達庶務 ツトメムキニヨクナレテ

ス也詩曰弗躬弗親 ○民部省例 イマ傳 ○義田 救助ノタメニヒ

也通 ○永充賑給 永世救助ノ備 ○弘文院 學問所ノ名在

○漂著 ○覆背 ○著紺布 ○形似袈裟 ○

年可二十 ○崑崙 印度地方 ○中國語 日本ノ

一絃琴 ○哀楚 楚辛痛也アハレニ ○資物 所持

綿種 ○川原寺 大和國高市郡 ○禁民輸錢求爵 金

道天皇 ○檢夷俘 ○膽澤城 膽澤郡 ○蝦夷

酋 首ハ長也 ○大墓公阿氏利為 ○盤具公母禮

○焚石 ○壅 ○志波城 陸中國志波郡 ○緒嗣 百川ノ

○在兵與土木 兵ハ軍事ナリ ○罷二者以紓

民力 紓緩也

論 ○廓大 廓擴開也オホイニ ○境土 ○塞謬

之臣 正論ヲ立ル臣下 ○瓜牙之士 コハウ ○英邁

邁過也ナミスグレ ○作興 土木 ○戎旅 軍役

テカシコキモノ

任用才雋トモミナ其職ニ 雋俊也才智ノス
○文武稱職カナフ言ハシ 文武臣

○獻可替否ケンカテイヒ 可キハイヒタテ否
○東顧トツコ

折衝禦侮セツシヨウゴヨ 外ヨリクルアダタクジキ
○攘ハラフ ○東顧トツコ

之憂ウレ上 東方ニモハヤ
○暫シラク ○無疆フキヤツ ○徭役ヨウエキ 徭備也

○改過不吝カクシ 從諫如流カキリナシ 不吝ハラシマヌ也如
○鑑カン 銘メツキ ノト

何レモスミヤ
○哲テツ 知也明也カ
○錡裕後昆ケルユウコウ 裕饒也寛也ユタ

洪業コウゲツ 大業ニ
○英武エイブ 剛疆直
○經費ケイヒ ○延エン

柏原カシハラノ 山城國
○英武エイブ 剛疆直
○經費ケイヒ ○延エン

五十代 平城天皇

安殿アデ 謚 聖德太子皇統 彌曆尊媛
○神野親王 ○

内麻呂ウチマロ 真猶 三男
○六道觀察使リクダウノカンサツ 國司施政ノ可
○

情ホラミサ
○公卿クキヤウ 三位以上
○日月云除聖忌ジツゲツコニユキヒイキ

將周マサシラト 聖忌ハ先帝ノ
○就吉ソクキツニ 忌明ノ後
○御新宮オホニシン

新宮ニ遷リタマフガ
○預アラカシメ マヘカタニ其事
○營構エイコウ 造營スル

水陸所湊スイリク 水陸トモニ便利
○道里惟均 ○不

憚斃勞期以永逸 ハカラザンラシキニニシツクニイイマシバラクノテカスライトハズノチニナガクマスキヨマツベシトナリ

棟宇相望 トツウアヒノツミ造構ノト、ノフヲ云フ 規模令度 ホカフトニモヨフダテノ法ニカナフ

所加益 トコロニキキ後世ニイタリヲツクルトコロナカラシメント也 朕忝 タニカニタクムレノ文ナリ

聖基 セイキ 事興作 コトホコウサクラフシンニトリカニラバト云フ意 乘成規 ソムカセイキニ

齋部廣成 イハヒロナリ太王命ノ裔 古語拾遺 コゴイ一冊アリ 左右近 サウウコソ

衛府 エフ 中務卿 ナカツカサキヤウカミ 宗成 ムネナリニ子 不軌 フキ 雄 ヲ

友 トモ 是公 ニ子 遠 トヨ 勸反狀 スミルハンフジヤウムホンヨス、メタルヤウス 九衛 サエ

士府 シフ 按驗 アンケン被考也險證也 首 シユトカミラトナリテト云フ意 兄雄 エヲ糞虫ノ孫

仰藥 アフクシクシラ仰ハノムナリ 真直 マナホ 廣貞 ヒロサダ 大同類聚方 ダイドウレキジユハク

百册 アヒ 成 ナルデキアガル 主帥 シユスイノカシラ 門部 カドベノ守門兵

鞞負府 ユゲヒフ兵隊ノヤ 聽 ユリス 六衛府 ロクエフ左右近衛左右兵衛左右衛士

鷹鷲 トウジュイヨウセンタカハヤサ 倭漢總歷帝譜圖 ワカンソウレキテイフツ 天御中主 アメノミナカヌシ

尊 ミコト 造化元始 ソウワゲンシ 標 ハウ 始祖 シソ 雜糅 ザフジユ 敢 アエテ

垢 ケガス 天宗 テンソウ神別皇別ノ正シキ 迷執 メイシツ 輒 ハヤシ

謂實錄 イフジツロウト 隱匿 インシヤク 乖旨 ソウキシニ上旨ニ 覺 カク 重科 オモク

○大同ダイドウ

五十代 嵯峨天皇サガガミ

神野カミヌ○第二子タイニシ 第一平城帝第一平城帝○皇姪クワウテツ○高岳親王タカフカノ

平城帝ノ三子 母ハ伊勢繼子 ○藏人所クラウド 殿上侍臣ノツメ所掌機密 文書及諸詠ヲトミエタリ ○復フクス

參議サンギ 前ニ廢セラレタ ○尚侍シヨウジ 女官ノ長 ○藥子クスリコ

居也キテチ 用事ユウジ 中間ニ申テホシ ○矯附百端ケウフヒヤクタン 矯詐附會ノ事カ多キ也

○仲成ナカナリ ○驕恣ケウジ ○陵侮リョウブ ○矯命ケウメイ 勅命ナリ ○暴バウ

白ハク ○擯ヒン ○東ヒカニス東國 ○文室ワンシツ 綿曆ワタリ 三緒大原ノ子 ○邊ヘン

○扼アキ ○繩主ヅナヌシ ○東宮トウキウ 宣旨ケンシ 從名也令旨ヲ宣傳スルト云フ意 ○愛アイ

媚ビ 愛セラレントメ ○嬖ヘイ 幸コウ ○啓ケイ 亂階ランカイ ○舊額キウガク 額トノカ

○有智ウチ 内親王チノ 母交野女母交野女王 ○齋イツキ ○齋院サイエン 賀茂大神ノ祭祀ヲ

ツカサドル伊勢ノ齋宮ノ如シ ○觀ミツメ 青馬アヲムマ 白馬ノ節會 ○今毛人イマケヒト 毛ノ字ナキハ脱セ

リ ○耳麻呂ミミ ○鷹養タカカヒ ○赤面セキメン 黃鬚ワウシ ○蒼隼サウジン

○將帥シヨウシ 之量ノリヤウ 大將ノ器量アル ○得死エトリ 力リキ 寛容ヲモテアヒシラフ

ヲ、シマヌヲ云フ ○長柄橋ナガラノハシ 攝津國西生郡 ○神泉苑シンセンエン 天子遊覽所ナリ 京都大宮通ノ西

ニア ○花宴節ハナノエンノセチ ○令望レイボウ ○德量トクリヨウ ○三朝サンチョウ 桓武平城天皇ノ三朝 嵯峨三帝

皇朝東西便蒙卷四

典樞機 ○ 愆失 ○ 殘虐 ○ 害名流 ○ 馭必

馱齧 馱使馬也馱セントスレバ必馱齧シテ
馱スル能ハサルヲ云フ必ヲ心ニ作ルハ非

樂 ○ 執鞭迴旋 本ニ被鞭トアリ鞭
ヲアツレハカケマハル

園人 ○ 楓磨 ○ 信 ○ 弘 ○ 常 ○ 非常之器

明 ○ 權貴 位ノタカキ人 ○ 富豪 家ノトミタルモノ ○ 邊邑 ○ 夷

狄 ○ 不肅 ○ 闕乏 ○ 犯違 ○ 眞 所置也 ○ 萬多

親王 桓武帝ノ五子母ハ藤原小梁鷲取ノ女 ○ 新撰姓氏錄 神別皇別諸蕃三部三十卷

定 ○ 服飾乘車制 ○ 清石珍 ○ 空海 ○ 金

剛峯寺 紀伊國伊都郡 ○ 多度 郡多度 ○ 惠果 ○ 密教 ○

朝會 朝廷ノ節會 ○ 拜跪 ○ 準唐儀 唐朝ノ儀式ニナラヘルナリ ○ 題

榜 門ノ名ヲ記シタルフダ ○ 逸成 ○ 上白 帝御自身ナリ ○ 奈良磨

入居 ○ 橋秀才 ○ 弘仁格 十二卷 ○ 格式

仙輿 三カトノミコシ ○ 答穹蒼 皇恩ノヒロクソラニタトノ ○ 草

競優劣 ○ 法帖 手迹ノマキモノ ○ 絶佳 ○

寶愛 ヒヅウシタマフ ○ 體異 書テイノカハツテヲル ○ 裂軸奏覽 法帖ノ軸

フサハキテ
御覽ニ入ル
○應天門南面
○及既釘モハヤ擲ヲ

及ニテ
○擲筆填之ナゲテフデヲテマコシ
○毫ゴウ
○差謬サジウ
○弘仁コウニン

淳和 天皇
○母ミ 贈皇太后藤原テウジノヒメノカミ
○節セチ 節會セチノミツ

大伴オホトモ 謚号時木根子天トキキネノミコノアメ
高讓タカノカミ 弥遠尊ヤトノミコ
○義真ギシン
○天台座主テンダイザス 比叡山ヒエノヤマ
○節セチ 節會セチノミツ

○騎射キシヤ 節會セチノミツ
○義真ギシン
○天台座主テンダイザス 比叡山ヒエノヤマ
○節セチ 節會セチノミツ

多勸國司タカノクニノシ
○巡察使ジヤンサツシ
○器局キヨク 器度キヨド
○收養シュウヤウ

○貧婁ヒシクル
○創サウ 創立サウリツ
○勸學院カンガクイン 藤氏學問所也フジノウチノガクノミヤ
三條ノ北壬生ノ西ミヤノキタノキナノニシ

封戸フセウ
○閑院大臣カンニンノダイシ
○勢位セイイ 赫奕カクエキ
○太タイ

○伎菟ギウ 菟ウ
○輟トム 止トメ
○名教之極メイケウノキョク
○滋野シノ

真主マシヌ
○經國集ケイコクシウ
○三守ミモリ 巨勢コノセ 麻呂マロ 孫マロノミコ
○新撰シンセン

格式キヤクシキ
○善道真貞ヨシミチノマサダ
○主稅頭チカラノカミ 租稅ソウゼ ヲツカツカ
○安ヤス

野真繼ノマシツグ
○直講チヨウコウ 神龜五年ニオクカメノイヒノトシニオク
唐ノ直學士ニ同シタウノチヨウガクシニドウシ
○刈田種繼カリタノタネツグ

論經義ロネキョウイギヤ 經書ノ義理ヲキョウショノギリヲ
○座首ザス 會頭カイダウ
○三傳サンデン 春秋シュウシュウ

氏傳ウヂノデン 公羊傳コウヤウデン
○三禮サンレイ 周禮儀禮シュウレイギレイ
○秘府略ヒフツリョク 今亡イマナシ
○清キヨ

原夏野ハラノナツノ 小倉王コクラノミコ
○令義解リョウイギケ 今尚存イマナカニアリ
○疏決壅滯ソツケツクヨウタイフ

皇明史略スエツミノシヨク 卷四
皇明史略スエツミノシヨク 卷四

皇明史略スエツミノシヨク 卷四
皇明史略スエツミノシヨク 卷四

南淵弘貞 ○常嗣 ○清公 ○論辨折衷 中

得失ヲ論辨シテ 其中ヲ取ルナリ ○天長

九十二代

仁明天皇

正良 マサラ 謚号曰木根子天 ミヤコ ○第二子 ダイニ 第一秀 ダイイチ 良親王 ラキョウ ○母 ハハ 皇后嘉智 カチ 子清友女 キヨトメ

恒貞親王 ツネサダ 淳和帝ノ二子母ハ 皇后正子内親王 ○金銀薄泥 ○狹

隘 ○縦 ○外寇 外國ノ ○粹 倉遠也 突也 ○對策 問題

登科 トウコ 品位進メ ラル、ト ○除 除ハ叙也官ニ 拜セラレ、ト ○大學少

允 ○遺唐判官 ○德宗 名ハ徳代 宗ノ子 ○舞

踏 靴絆フ 式ナリ ○島木史真 ○機弩 大弓也シカ ケ弓ノ一 ○左

右旋轉四面可發 イウセンテンシメンベシ 左右トモ自由ニマハリ トテラヘモハナタレル ○機發如

神 シン ハナツグアヒノ 妙ナルヲ云フ ○涉獵史漢 史記漢書ニ ユキワタル ○從一品

正二品 ○紀馬主 ○甘南備信願 ○小

野篁 ノノ 峯守ノ 長子 ○忿恚 ○西道謠 ○刺 ○犯忌

諱 キヲ 諱避也隱也イミカクムヘ キーヲモハハカラスー ○蕎麥 ○灌佛 イハユル 佛生會也 ○

清凉殿 セイラウテン 中殿ヲ 云フ ○吉野 綱繼ノ 長子 ○稟性 ○温恭

决斷 ケツダン トリサバキノ ツキリスルー ○優待 ユウタイ アツクテ ヒシフフ ○彗星 ○日

皇朝史略 卷之四 九十四

本後紀 ホシコウキ 四十卷イマ殘 缺十余冊アリ ○阿保親王 アホノホノ 平城帝第一子 母ハ番長藤姫

○東宮帶刀 トウグノタチ 東宮ニ屬 スル兵士 ○伴健岑 トモノコハ 母ナカレカイスルクシ ○勿介懷

○冷然院 レイゼン 大炊御門南堀川西ニ アリ後ニ冷泉ト改ム ○飛

書 シヨ ツカヒヲトバシテ 申シ上ルフミ ○僚屬 リヨウゾク 東宮ツキ ノヤクニン ○高野天皇

孝謙天 コウケンテン ○才慧 サイナイ 慧曉通也オ ノスルドキ ○世故 セイク 世々ノ故 事旧例 ○冢嫡

冢長也 ツカノチ ○二上皇 ニシヨウ 嵯峨 淳和 ○禍機 ワカ 禍ノ来ル トキヲ云 ○春

澄善繩 テイゼン ○冀 キ 志ヲ云 ○效 ケウ 周大王太子王位 ヲ弟ノ季登ニ讓ル ○劉

論 ロ 後漢光武ノ太子位ヲ 避賢路 賢人ノテルミ ○至公 シコウ 心ノナキ ○間 カン 也 ○構陷 コウケン 讒ヲ

○負寬 イフケン ムジツノツミ ○庸詎 ヨウヂ ○讒諛 ゼンレン 面諛 ○媒孽 バイニョク ナカダチ

○鞠問不服 キクモンフボク 擧問ヲウケテ 罪ニオチヌ ○非人 ヒニン ○徒步 トホ カチニテ

○監護者 カンゴシヤ 護送ノ 人 ○叱 シツ ○號眺哀慕 ガウテウアイボ ○收屍 シュシ

葬 サウ 遠江國布智 郡板築驛 ○爲尼 ニ ○衛 マモル ○尚矣 シヨウイ 久 ○苞茅 ホウボウ

不貢 フコウ 苞茅ハミツギモノナリ 左傳曰苞茅不入 ○商賈 シヨウコ ○消息 シヨウソク ○不虞 フヨ

不慮 フリョ ○仲平 チュウヘイ ○行平 コウヘイ 母ハ伊豆 内親王 ○守平 シュヘイ ○業平 ゴウヘイ

皇朝史略 卷之五

校後ニ大學寮 ○鄧皇后 後漢章帝ノ后 和帝ノ世朝ニ臨ス ○北殿 ○

別曹トナス ○名達 ○大目 ○豐雄 財ノ子 ○猪名部 ○弱

冠 前ニ ○博洽多通 ○強記 ○補俊士 ○岑

守 永見ノ子 ○慚悔 ○彈正大弼 ○配流 ○謫行

吟 ○野相公 參議ヲ相公ト云フ ○素清貧 ○俸入 俸秩也

官給 ○沉道固 ○唱和 詩答 ○富艷 學オノ充分ナル ○

河陽館 中御門南堀川東南ニ町南一町後入トアリ ○白居易 白樂天 ○

白氏集 白氏文集ノ一 ○秘府 上ノ文庫 ○賭 ○不羈 前ニ ○

野狂 狂在人 ○穎悟 前ニ ○令譽 ○恭謙 ○傲

閑習朝典 朝廷ノオキテニ熟シタマフ也 ○高棟 ○平朝臣

○舉止 閑雅 ○鷹鷄 ○五世王服色 皇孫五代目ヲ

五世王ト云フ其服色ヲ改メテ諸臣ニ準シタル也 ○良相 ○祀天 本書ニ因ルニ昊

昊天上帝 ○圓丘 周禮大旅上帝註祭於圓丘固有故而祭曰旅下文選甘泉賦註一祭天之壇也マトヲカト

○差謬 ○曆博士 ○大春日真野麻呂

○五紀曆 唐ノ代宗ノ世ニ作ル ○相坂關 近江國滋賀郡 ○大石

○龍華 同上古クハウリニウゲ ○明察 ○禁網漸密憲

同 ○龍華 同上古クハウリニウゲ ○明察 ○禁網漸密憲

皇朝史略 卷四

八十五

法頗峻ハフスワルシユ ○ 明帝メイテイ 名、莊光武 第四子 ○ 真原山陵マハラヤマシノキ 山城國葛野郡

○ 田村帝タムラノテイ 田村ハ地名山城國葛野郡ニアリ ○ 仁壽ニシユ ○ 齊衡サイカウ ○ 天安テン

安

五十七歳 清和天皇

惟仁コレヒト 世ニ水尾 帝ト稱ス ○ 第四子ダイシ 第一惟喬第二惟條 第三惟彦第四帝 ○ 母ハハ 藤原

深殿后ト稱ス藤原良房公ノ女ナリ ○ 太子クイシ 幼冲イヨナリ 太子ハ清和帝ナリ書 金騰註イナケナシ 幼小有位曰冲

○ 權ケン ○ 惟喬親王コレカノ 文德帝ノ第一子母 静子紀名虎ノ女 ○ 儲貳ナヨジ ○

外祖ソウイ 母ハハ 方カタ 祖ソウ 父チチ 也 ○ 三仁ヒト ○ 懸象無變ケンシヨウナシ 易繫辭曰懸象 著明莫大乎日

月ツキ ○ 太子無他クイシナシ 天文ニカハリナケレバ太子ノ 有アリ 言イハル 於帝テイニ 天子ハ上言ス ○ 十陵ジウリョウ 天智帝山階陵光仁帝 田原陵 桓武帝柏原陵

崇道帝チウダウ 仁明帝ニメイ 鴻野陵クニノ 文德帝ブントク 田原陵タハラ 光孝帝クワウキョウ 後田原陵ノチタハラ 贈太皇太后高野氏タカノノ 大枝山陵オホエダヤマ 贈太皇太后藤原氏フジワラノ 長岡山ナガノカミ

皇明史略卷五

八十三

陵。春日宮御宇。天皇田原陵。○四墓。鎌足公多武舉墓。冬。嗣公宇治墓。藤原美都子次守治墓。源深姫愛

宅。○獻歲終荷前之幣。荷前ハ初穂也。三ツギハツホヲ年終ニ奉ルコト

基。○圓珍。○延曆寺。比叡山。○饒盃神。ト云フ

寶錢。○祠。○八幡。○大神。○男山石清水。山城國久世郡

○孝經。○唐玄宗。○隆基。○孔。○鄭。○二註。○孔安國。○註。鄭玄

○釋典式。○宣明曆。唐。長慶中。○令使時。用ヒタル曆

政得失。○相撰節。○紀。○二童相撰。○アシラ言上セシム

ナ。○準大國例。○大上中下。○等アリ下野國。○上。國ナレラ大ニ準ジタレナリ

隕霜。○大江音人。○參酌唐禮。○修

定其儀。○修理也。備也。○儀。○冠禮。○元服。○禮。○本

主。○菅原是善清。○子。○屬文。○文ヲ作。○弘帝

範。○群籍要覽。○共ニ今。○貞觀。○格式。○今。○ナホ

類聚國史。○應天門。○ハ省。○朝堂院。○南面。○外門。○栖鳳。○門。○東

○翔鸞。○在。○應天。○門。○西。○有隙。○有。○隙。○ナカ

罪ニオト。○中庸。○誣信所爲。○案。○ト。○リ。○ミ。○直

直。○正也。○其誣ナ。○攝政。○帝。○切。○沖。○大臣。○萬。○機。○ヲ。○攝。○行。○ス。○ル。○心。○ヲ。○正。○ス。○

○南淵年名 坂田奈豆丸ノ子 ○良繩 字ハ朝台大津ノ子ナリ

○鞠 ○拘 ○左衛門府 モトハ衛士府也嵯峨帝ノ御宇アラタム ○夏井

論讞 獄也 ○當斬 ○紀豊城 弟異母 ○夏井

○連坐 カ、リアヒヲ云フ ○忍酷 仁心ノナキヲ云フ ○有口辨 辨舌ノヨキヲ

○幹理 カシラタツテモノヲトリアツカフ ○察斷 トリサバキノハツキリスルヲ

機敏 コ、ロノト、イテサトキヲ云フ ○微倖逢迎 微求也倖幸ニ同シサイハヒ

○福狹 セ、ユマシキヲイフ ○内記 中務ノ屬官 ○顯要 頭職ニ同シ前ニ出

○憎 ○微時 身分ノイヤシカリシ時ヲ云 ○給事郡司 郡司ハ郡領也

○跨劈裂 本書ニイハクソコノマタコロサカレニズラノ云々トアリ ○延接甚恭 アシラヒ

○不令終 ヨラセヲイフ ○善岑 ○温雅 ○真聖 妙ニ入タルヲ云フ

○召見 ○衣屨麁弊 屨麻屨也弊敗也 ○咄 ○疲駿 ツカ

○殊寵 殊ハ異也 ○詰闕 御門也 ○黎庶殷

○富 庶民ノトミ ○倉廩充實 ○贈遺 ○不終乎

○肥俗 肥後ノ風俗 ○貪汚 貪欲ヲカキ ○遮路

○終ヲ令セザラントナリ ○肥俗 ○貪汚 ○遮路

皇朝野史卷之三

悲哭 ○相接 ○執喪 ○伴勝雄
ヒ コク ス ア イ セ フ ス ト ル モ ラ 忌中ノオキテ

○圍棋 ○藏鈎 ○青衣 ○器
キ ギ ゴ ラ ウ ツ 1 ザ ウ コウ カギヲテニカクサシノテアテル 也藏鈎之戲鈎戈夫人ヨリ始マル

漢武故事 ○令夏井射之 ○青衣 ○常平倉 ○器
漢武故 事ニ出 シム ナツ キ ラ ノ ア テ コ ラ セ イ イ 青キ衣ヲキ タル少女也

簪 ○效驗 ○綿絹 ○衣被 ○嘗調
シ ン 自花ヲカミ ニ サ シ タ ル ナ リ カ ウ ケ ン 藥功ノ シ ル シ メ ン ケ ン イ ヒ 被 覆 カ ッ テ

字曠遠 ○綿絹 ○衣被 ○嘗調
ウ ヲ ウ エ キ リ ヤ ウ ノ ヒ ロ ク 大 ナ ル 1 綿 ケ ン イ ヒ 被 覆 カ ッ テ

鼻 ○四學堂 ○嘗調
ア タ フ シ ガ ッ タ ヲ 四 學 ヲ 習 フ 堂 ナ リ 紀 傳 明 經 明 法 算 道 之 ヲ 四 學 ト 云 フ カ ッ テ

練五石 ○近侍
レ ス ィ セ キ ヲ 文 選 景 純 遊 仙 詩 安 期 鍊 五 石 註 丹 砂 雄 黃 白 礬 曾 青 磁 石 也 ト ア リ キ ン シ ラ ン バ ヅ

畏難 ○盡 ○衮職
オ ツ レ ハ ヲ ツ ク ス ノ ミ ツ ク コ ン シ ヲ ク 三 公 ヲ

機務 ○放鷹魚獵 ○病困無資
カ ン ヲ ヲ ノ ヲ ト ノ 機 樞 機 也 放 鷹 魚 獵 病 困 無 資

業者 ○崇親院 ○宗族
ゲ フ モ ノ 疾 病 困 窮 ニ テ ト セ イ ノ デ キ ヌ モ ノ ソ ウ シ ン ニ ン ソ ヲ グ ク 藤 原 氏 ノ 一

○不能自存 ○封戸 ○正殿
ガ ル ア タ ハ ミ ッ カ ラ シ ス 我 身 ノ シ マ ヅ モ デ キ ヌ モ ノ フ ゴ 前 ニ 出 ツ シ ヲ ク 大 極 殿 ノ

○錫紵 ○素膳 ○輟朝
シ ヤ ク ナ ヲ 天 子 之 喪 服 ツ ゼ ン ゴ シ ヤ ウ ジ シ ヲ ヲ テ ア ウ ラ 政

○太皇太后宮大夫 ○大津
タ イ ク ワ ウ ダ イ コ ウ グ ウ ノ ダ イ 大 夫 ハ 長 官 ナ リ オ ホ ッ

○寬裕 ○孝謹 ○天長 ○班
ク ワ ン ヌ ヲ コ ウ キ ン テ ン ナ ヤ ウ 長 ヲ 至 ニ 作 ル ハ 非 ハ ン 坐 列 ナ リ

碩儒 ○耆老 ○齒 ○左近衛少將
セ キ シ ヲ 碩 大 キ ラ ウ 禮 記 六 十 曰 耆 ヲ シ ン サ コ ン 少 將

○基經 ○風骨 ○才望 ○時論 ○雅
モ ト ソ ネ フ ウ コ ッ サ イ ボ ウ ジ ン ヒ ヤ ウ バ ン ガ

量 ○親重 ○帶四位 ○帖席 ○慕

遠 ○妨賢路 ○賢人出世ノ道 ○稱病篤不

肯視事 ○病ニ託シテ ○勤セヌナリ ○貞明親王 ○氏宗

○上貞觀格 ○殘缺數本イ ○尚存セリ ○炎旱 ○服御常

膳 ○式部大輔 ○續日本後紀卷二十 ○博多

津 ○掠貢絹 ○縁海 ○輕侮 ○立門

賊ノ爲ニ警 ○周慎謹朴 ○迭 ○輕侮 ○立門

戸 ○悒退 ○謝遣

繼 ○太宰少貳 ○元利萬侶 ○檢非違使

天長ノ年ニオク ○視事 ○少内記

都良香 ○祖父桑原秋 ○掌客使 ○博聞

疆記 ○弱冠 ○習矜伐 ○妍媸

妍麗也 ○嫉 ○辨薰蕕論 ○庸

詎 ○曲阜尼丘 ○培塿

紫蘭紅蕙 ○蕭艾 ○二儀

星月史各更卷五 八十七

香臭カウシウ ○ 踐其フムツノ 萌芽ボウガ ○ 薦スム ○ 宗廟ソウビヤウ ○ 鬼神キシニ 靈シニ

ト ○ 杜絕トゼツ 杜塞トサエ 也 ○ 鵙鳩テイケツ 之啄クチ 文選張平子賦ニ 鵙鳩鳴ニ 而不芳トアリ 矜伐家ニ

タトヘタ ○ 芬芳フニハウ ○ 鋤除チヨ 葳蕤スラウ 之根ネ ○ 穢惡クワイアク ○

ルナリ ○ 不同器オナシヤメキヲ 而藏カク ○ 當異處マニコトテ 而種ウハ ○ 主計頭カズハ ○

貞繼サダツグ ○ 都宿禰ミヤコノス 禰ネ 祿ル 弥ニ ○ 源融ミエトホル 嵯峨帝ノ ○ 永ナカ

河カハ ○ 謚シ ○ 忠仁チウジン ○ 貞固サダカタ ○ 貞元サダモト ○ 貞保サダヤス ○

貞平サダヘラ ○ 貞純サダヂ ○ 長猷ナガミチ ○ 長淵ナガフチ ○ 長鑿ナガミ ○ 曹ザウ

司廳シヤウ 大政官ノ ヤ ○ 奏請ソウシヨウ ○ 營エイ ○ 年糧ネニラウ 對馬國ノ 食料也 ○

松浦郡マツウラノ ○ 庇羅ヒラ 值嘉チカ ○ 上近カミチカ 下近シモチカ ○ 島司シマノ

○ 寬明クワンメイ ○ 仁恕ジンジョ ○ 舉動キョウドウ 遵禮ジュレイ ○ 白箸ハクシヨ 翁オウ ○

皓髮コウハツ 皂衣サウイ ○ 被服ヒフク 顏容ガンヨウ ○ 醉飽スイハウ ○ 飢色キシヨク ○

放誕ハウタン 思シ フマ、ニ スル ○ 無測ムソク 其際サイ ○ 南山ナンサン 何ノ山ナル ○

石室シキシツ ○ 遜位ソンイ ○ 清和院セイワイン ○ 御菜蔬ゴサイソ 精進シヤガル ノラメ

○ 斷聲色タンシヨク 聲色セイシヨク 好音コウオン ○ 丹波水尾山寺タニハミヅノヤマノテラ 在桑田郡ニ 圓序寺エンジヨウ

○ 酒酢鹽豉シウソウエンシ ○ 苦修クシウ 備至ビシ 難苦ナンク ノオユナヒ ○ 圓エン

覺寺カクジ 基經公粟キキョウキム 田山莊也 ○ 貞觀ジヤウケン

論 淳屠氏 僧ノ一梵語ナリ 〇 既禍ニ 〇 沙門 シヤモン

僧ヲ 〇 春秋未盛 シユニシウ スサカチラ ミトシノワ カキライフ 〇 不顧 スカケミ 政事ヲカヘ 〇 同 オモシラス

〇 脫履萬乘 タツシス バンシヤウラ 天子ノ御位ヲ去 〇 作備 ツクレイヨウラ 前ニ 〇 同 オモシラス

軌梁武 キヲリヤウツニ 梁武帝佛法ヲ信シ 〇 寶祚未衰金甌 ホウソウ イマオトウエキン オウ

無缺 ナシカクル 國家ノ動カヌタトヘ 梁武帝云フ我 〇 顛政 ヒラエセイラ

權柄下移 ケンヘイ カイシ 職此之由 〇 胚胎 ハイタイ 婦ノ孕ハ二月

ト云フコトノキサシ ヲタトヘ云フ

五十六代 陽成天皇

貞明 〇 母 名ハ高子贈太政大臣長良公ノ女 〇 豐樂殿 〇 大極殿

〇 保則 ヤスノリ 繩曾孫 〇 討叛夷 トウハンイ 〇 倭夷 トリコニシ

〇 秋田城 アキタノ 出羽國 秋田郡 〇 興世 イクキヨ 富士磨 〇 屢 〇 招 シヤウ

討之任 タウノ 仁ヲ以順ヲ招キ兵 〇 内附 ナイ 内國ニ歸順 〇 垂 ナゲトス

也 〇 寇逆 コウゲキ アタヒヒサカフ 〇 良岑良近 ヨシミネヨシナカ 〇 聚斂無厭 シユウケン ナクアケク 斂ハ貪

〇 徵求萬端 シウキウ バンタン アレモコレモト 〇 疊怨積怒 カサネウツラツクハイカハラ 〇 夷 イ

種 蝦夷ノ 〇 合從 カフ シュウカ 同意シテ人數 〇 窮寇死戰 キウコウ シセン 戦キユ

タルアダシニモ 〇 鋒 〇 坂將軍 ホウ 坂上田 村麻呂 〇 復生 フクセイ マタウマル

蕩平タウヘイ ○ 義方ギハウ ヲワリ ○ 威信キシン 信實 ○ 播德ハクタク 德音

仁德ニドク ○ 野心ヤシン イヤシキ ○ 尺兵セキヘイ スコシ ○ 恩信オンシン オメ

トシン ○ 醜類シウレイ アシキト ○ 馴服ジュンフク 以漸而至曰馴 ○ 左サ

近衛將監チノエシヤウケン ○ 小野春風コノノハルカゼ 石雄子 ○ 驍勇ゲウユウ ○ 遭アヒ

讒免官ザンニベンニラタシラ ○ 招致セウチ マネキイタラ ○ 銷散セウサン ○ 擢タツ ○

敗血バイゲツ ハイグ ○ 意氣自若イキジジヤク イキガシノツネ ○ 懼容クヨウ

挺身テイシン 挺抜也 ○ 宣朝命センステウメイ ○ 叩頭拜謝カウトウハイシヤ 叩頭誓目類也

ニツケテワ ○ 豪長ガウナヤウ 酋長ニ ○ 國府コクフ 秋田ニ ○ 慰撫エイブ

渠帥キョウシュ イナバシ ○ 不肯歸附コウケンキフ フトクシンニテ ○

願暫垂寬假ネカクシタラ 日ノバヲネ ○ 撫納ブナツ ○ 津輕ツギ 渡島國津輕郡

渡島ワタリシマ 北海 ○ 雜種ザフシユ イロク ○ 內屬ナイゾク 内地ニツキ

疊柵樓塹ルイナツク 雑居 ○ 雜居ザフキヨ 内地ノ民ト夷種ト雜居スルナリ ○ 豪腴コウユ コエタル

珍貨チンカ ○ 豪吏ゴウリ 豪族ノヤクニ ○ 兼并ケンヘイ トリコム

編氓ヘンバウ 氓民也ソノ地ノ籍ニ ○ 姦猾ケンクワツ

富益フイシ ○ 法令フレイ ○ 安堵アンド スルナリ ○ 邊庭ヘンテイ

取決トルケツ 裁判ヲウケル也 ○ 兩備リョウビ 備前備中 ○ 理リ ○ 嚴ケン

皇明史略卷之三十五

九十一

○廬舎 ○塵死 ○文德實錄 卷十 ○仍舊

○奘學院 在原行平建ツノチ 勸學院ニ準ス ○太子高岳 ○中

○上牒告 ○西域 竺天 ○羅越國 印度地方 ○

○躰居太子 ○不祥 同ジ ○源多 仁明帝子 ○裴

○菅原道真 ○治部大輔 諸蕃朝聘ハ治部省ノ掌ル所ナリ

○島田忠臣 ○接伴 客ノモテ ナシヤク ○穎悟 ユトニスグレテガテンノヨ

○立成 ○歎異 ナミノナラヌト ○文章生

○對策及第 ○白居易 ○三條

院 即陽成院也 大炊御門ノ南西洞院ノ西ニアリ ○昏狂 昏冥也 狂人

○右馬少允 判官也 ○小野清如 ○權少屬

○紀正直 ○道術 道家 ○捕捉蛇蛙 ○鬪

○大猿 ○掎 ○祈年祭 二月四日恒例ノ祭典年 穀ノ豊登ヲ祈ル旧式也 ○手

○紛紜 ○諸葛 三守ノ孫 有縁ノ子 ○按劍

○元慶 ○宗室

五十七代 光孝天皇

時康 ○仁明帝第三子 第一文德帝第二宗 康親王第三帝也 ○母

藤原澤子贈太政大臣總繼之女 ○經史 ○容止 ○閑雅 ○九

族 高祖曾祖祖父己子孫曾 ○王文矩 ○竊 ○劍

璽 神器也 ○勸進 ○宗室 皇族ナリ ○詣 ○

咸 ○裝飾 ○敝簾 ○筵席毀壞 ○止容自

若 ○度 ○屬 ○恒貞親王 淳和

二子母ハ皇后 正子内親王 ○陳推戴之意 一意ヲノブル推推舉也戴奉戴也

○拒而不納 玉ハヌヲ云フ ○好圖畫 ○偃息

圖 偃息偃卧ニ同ジ春画ノ一世繼物 致辱於所生 所生ハ父

母ト云フ 二同ジ ○廢黜 ○精進 ○持戒 ○儉率

カサリノ ナキ一 ○貂裘 ○如絞人者 ○鬼絞 ○顛覆

○海溢 ○妖 ○不豫 天子ノ 臥内

○阿誰 阿ハ親愛ノ詞ド ○王侍從 皇子ニテ侍從

クエカ クイフ ○勲勞莫大 ○葛野郡小松郷後田

五十八代 宇多天皇

定省 ○七子 諸書第一是忠親王第二是貞親王第三帝ト

○母 班子女王仲野親王之女 ○踐祚 ○万機 巨細 ○關

白 方機 其人ニ關白スヲ以テ 西宮記ニ ○懇 詔内外奏請上下大小雜事先自其人宣行トミエタリ

○社稷 國土ノ神ナリ ○阿衡 殷湯伊尹ヲ以テ阿衡トシス後世ノ攝政關白ノ如シ書太

甲註云阿倚衡平也 ○廣相 モト擲覽 ○所草 草ハシタ 言天下之所倚平也 峯範ノ子 トコロソウス カキナリ

○放廐馬 ○準三宮 太皇太后皇太后宮。皇 ○宗

高 カウ タツトビ ○擬 ○堪 也 ○素志 本意ニ ○敕諭

天子ノオ サトシ ○援立 ○保護 ○功大德高 ○不媿 ハチ

周霍 シウ ワク 周ノ成王幼ニシ位ニ即ク周ハ公且政ヲ攝 ○閑退 カニ タイ 閑

間ニ作 ルハ非 ○籍宰輔 宰輔カニ ○輔導是賴 タス クヒトヲタノ

ト云フ ニスル ○詔稟 ○垂拱 書曰垂拱而天下治 ○仰成

ナリ ユキ ニ コ セ カ ナ コ カ ヘ キ カ ム ク ワ バ マ カ ヒ ル 之 蹄 ○刮眼睛 ○公望 ○公忠 ○深江 ○

弘高 ○奕世 奕累 ○左近衛大將 ○賀茂臨

時祭 寛平元年十一月ヨリ ○高望王 ○平朝臣

葛原親王 桓武帝第三子 ○高見王 ○廣成 ○

昇殿 參内 ○右衛門大尉 右衛門府ノ一ノ官 ○横

看讀過 ○一代藏經一切經 ○峻 ○侍讀勞

侍讀ハ天子ノ ○寬平大寶錢 ○昭宣 ○縝密

祗畏縝ハ縝也ユマヤカナル一祗ハ敬也ツシミスフカキヲ云フ ○賞賜賞ニ賜ハ ○應

制勅ニ應ジテ ○良世 ○來聘 ○紀長谷雄 ○

彈正忠判官也 ○貞範 ○穎敏 ○成童十五歲

○大藏善行 ○不意詞藻至此 ○唱和詩

答ノ贈 ○詔罵 ○不才博士博士ハ學者ノ稱 ○不校較

○善友 ○源融母ハ大原全子 ○營ツク ○河

原書院六條坊門南 ○園池 ○窮極工巧 ○

模陸奥鹽竈之勝槩塩金浦イマ陸前國 ○能有

氏母伴 ○春海貞吉 ○唐舞師 ○由基所風俗

舞大掌會ノ節辰巳ノ兩日ニ由基主祭 ○左近衛 ○雅

樂助雅樂寮次官ナリ音樂 ○枸杞 ○壯容 ○時

平基經ノ ○參決機務參決ハ立アフテ ○自著書

寬平遺戒 ○賢否否ハ不賢ノ ○得失セイジノヨシ ○訓

識 ○殷周 ○名臣像 ○障子障子ユレナリ ○

賞月 十三夜觀月ノ ○ 脱履 ミクラホヲ サリタマフ ○ 仁和寺

山城國 ○ 御室 ○ 寬平

五十九代

醍醐天皇

敦仁 世稱後山科 帝又小野帝 ○ 母 高藤女 高藤子藤原 群書治要

○ 高藤 觀修寺 家ノ祖 ○ 大舍人 禁中供 奉ノ官 ○ 良門 ○ 勸

修寺 ○ 三善清行 ○ 辛酉革命 革命ハ時運ノ

也辛酉ノ年ハ革命ニ當ルト云 ○ 不納 變革

○ 建卯 卯ノ方ニムカフナリ ○ 動干戈 軍事アラシ

兵器 ○ 遭凶衝禍 凶事ニアヒ禍 ニツキアタル ○ 引弩射市 ○ 薄

命 ○ 天數幽微 天ノ命數ハカスカニシ テ推察リガタシト云意 ○ 人間 云為

云鳥言有同シヒトノイトナミハ マコトニ知リヤスシト云フ意 ○ 閣下 閣閣ニ 同シ ○ 知亮

ルリアキラム ○ 伏惟 伏敬也惟 思之專也 ○ 翰林 文章博 士ノ

超昇 超越也 ○ 槐位 三公ノ一 周禮秋官 西三槐三公位焉 ○ 寵榮 寵遇

ルナ ○ 光華 儒道ノ盛ニ行 ○ 止足 足ル一ヲ知ル 即止足ナリ

○ 營分 分分 限也 ○ 擅風情 於烟霞 ○ 藏山智

丘壑 山智ハ智ノ高キヲ ○ 後生仰見 ○ 遭貶謫

左遷ナリ

論 頌也 ○ 拱默受制 手モダサズ口モキカズ ○

紀綱 詩大雅綱紀四方 ○ 陵遲 意平準書選舉陵遲

○ 登庸 ○ 收 ○ 去就 官ラサルト ○ 係 ○ 興

衰 衰 ○ 盡誠竭節 ○ 不爾 ○ 螳螂

奮臂黃雀張口伺隙其後 ○ 事機 ○ 至論 至當

太宰權帥 源光 ○ 碩儒宿德 碩犬也

十月

眷注 眷顧也注留也三コ ○ 定國 高藤三子 ○ 菅根 菅右生良

誣構 竊謀廢立 ○ 齊世親王 宇多帝三子 母橘義子 ○ 申

理 過絶 ○ 禁錮 重繫也 ○ 放逐 ○ 右兵衛

督 良尚 ○ 百家 書也 ○ 薦 撰舉也 ○ 忤 ○ 毆

銜 三代實錄 清和陽成光孝三帝ノ 實録也五十卷アリ ○ 歷事五

朝 醍醐ノ五帝ナリ ○ 親任 ○ 游獵 ○ 獻替 ○

匡救 ○ 託文墨自遣 詩文章ニ心ヲコセ テナグサメタマフ ○ 謫居

無膠 膠頼也配所ノタノミ ○ 重陽 九月九日 ○ 待清

涼リヤウ 清涼ハ清涼殿也

○秋思詩篇獨斷シユウシ 賜ヒトトリ 君タツハラ 富カラ 春ラ 秋ラ 臣ラ 漸ラ 老レ 恩シ 無シ 涯シ 岸シ 報シ

猶遲シト云フ詩ヲ作りテ奉リタルヲ思ヒ出シテ大ヒニナゲキ玉ヲナリ

○恩賜御衣オンシ 賜ヒ 御衣ヨイ

捧持ホウヂ 每日マイニチ 并餘香ハイヌヨカウヲ

○右近馬場ウチノシノ 場バ 一條京イチジョウキョウ 極キョク 未ミ ○北野キタノ

社シヤ 愛宕アヲタケ

○崇象親王タカナリ 崇ム 一ニ 宗ニ 作ル 後保明ト 改ム 母ハ 皇后ニ 穗子ト 基經ノ 女ニ

○大内記ダイナイキ 詔勅ノ 造リ御所ノ記録ノ事ヲツカサトル役

○紀友則キトモ 有友ノ 子ニ

○御書所預ミカドノ 紀貫之キツラ 望行ノ 子ニ

○古今和歌

集シフ 千首ニ 十卷

○延喜通寶錢ニシ 延喜格ニシ 裴璆ニシ

○淳茂アツシゲ 掌客使シヤウカクシ 客ア ミラヒ ノヤク

○題テイ 異域イイキ 異國イコク 也

○邂逅カウコウ 一期會也

○奇遇キウゴ フシギニ出アフト

○五條

道祖神祠ミチノソノ 大柳樹ダイユ

訛言シウゲン 訛謬也詩曰シ 雨アメ

寶華ホウワ ○舉都キョト ○妖魅イコウミ 本書此ハ 天狗ノ ナドト 所為ニ ヲシレ

○不瞬スシユン 目ヲモ瞬カズシテトアリ

○大鷗ダイウ 本書大キナル鷗ノ 翼ヲ 拵タル 成テ 木上ヨリ土ニ落テトアリ

○明決メイゲツ ○構陷コウケン

ナキコトヲカマヘツミニオトシイル

○馬逸ウマイツ 逸ハ 奔也故也

○詔求直シウモウジツ 詔シ 求モトム 直チヨウ

言ゲラ ○式部大輔シキブン ○條陳便宜テウテンベンイ 十二ジニ

イハユル意見封事十二條也

本朝文粹十二卷ニ載ス

○肅祭祀ソウシサイ 神祇ノ祭典

○禁奢侈キンシヤシラ

○抑兼オサケン

并ヘイ アス

○勵學生リキガクシユウ

○省舞妓シヤウブキ ゴセチノマヒ

○慎刑獄シンシヨク

罪人ヲ所分ス
均祿賜
擇牧宰

收宰ハ
程課役
嚴邊備

キビシ
汰僧徒
修津泊

治也
修修

論
時務
幾數ノ多
剴切痛決

切迫ニシテヨクニキ
經世
蘊心ノオク

叔世
庸主
展

服飾
忠平
中務卿

重職宮中事當省可
貞純親王
氏吉

巨勢文雄
法律
洽聞

宗師
師範
誥
眼文
善家

集今亡
凶宅
妖竟

熄
大江朝綱
爲相否相ハ三
大邦

高明
源周子
兼暘
藤淑姬
文獻

命
相踵而逝
慶頼王
崇象親王
子母時平公女

○定方ナダカク ○高藤タカフデ 良門リヤウモン ○長谷山チヤウコ 城上シヤウジヤウ ○契キツ

丹タン 支那シナ ○扶餘城フヨウシヤウ ○東丹府トウタンフ ○突欲トツヨク ○延エン

喜式キシキ 五十卷イソノマキ ○小野道風コノノミチカゼ ○南廂粉壁ナンシヤウフンヘキ ○道シツ

玳ダイ 筆勢ヒツセウ 大イダイ ○神逸シンイツ 名ヒツナヒツ ○冠絶クワンセツ 第一等ダイイチドウ ニス

○隻字セキジ ○佐理サケマサ 實頼サツタカ ○行成ユキナリ 正二位マサニニ 權ケン ○三蹟サンセキ

○全州センシウ 酋シウ ○甄萱シケン ○歸化キカ ○清貫キョウカン ○希世シヤウセ

○大漸ダイゼン ○鬼跡キセキ 本書ホンシヤウ 四月廿五日夜シツゲツニイハチノヨ ○常寧殿シヤウネイデン 和名ワナ

云一クニ 一イチ 在ニ 兼香殿ケンキヤウテン ○長過殿棟チヤウカスデン ナガ、リミト也ナガ、リミト也

○北陣キタチン 朔平門シヤクヘイモン ナリ又ナリマタ ○晏駕エンカ 漢書カンシヤウ 曰イハク 宮車ミヤクルマ 一イチ 燕天子エンテンシ 當起トウキ

出也デ ○臨御リンゴ 御ミコ 日久ヒサ 御在位ミコニイニ 間マ ○厲精レイセイ 圖治トウヂ ○

格制カクセイ ○風俗フウゾク ○盛飾セイシヤク ○職事シヤクジ 藏人サウジン ヲ云フヲイハス 令ツキ 少納シヤウナウ

傳デン フツカサフツカサ ○讓ジヤウ 責セキ 也也 ○今者イマノキタ ○首シユ ○舉動キョウドウ ○惶クワウ

懼ク ○歸第屏居キイダイヘイキヨ ○頰ケン ○慈仁ジジン ○親シン ○省民シヤウミン

間凍餒カンドウノウ 凍餒ドウノウ ノ字ノジ ○假以顏色カニモラス 温和ワニ ナルナル ミケシキミケシキ

○持己ヂキ 嚴恪エンカク 恪恭カククウ 也也 ○温オン 温和ワニ 也也 ○來諫キタス

者シヤ

論 壅蔽 ○ 廣廈 屋也 ○ 帷帳 ○ 垣墻 ○

奄豎 說文曰奄豎也宮中閹閹閹門者 ○ 頑童 ○ 佞

諛 ○ 狃 ○ 逢迎承順 ○ 黨言

黨讜三改ムヘシ直言ナリ ○ 適 ○ 逆耳 逆耳 ○ 脆

然 發怒 ○ 狂 ○ 姦臣 ○ 昏吏 ○ 釀

亂胎既 ○ 恬然 ○ 又安 ○ 無虞 ○

危亡存亡 ○ 逼且夕 ○ 決也 ○

譽 諤也直言 ○ 匡弼 ○ 持盈而不溢 ○ 舉

固 爾ナリ ○ 土崩 ○ 讒邪 ○ 懲艾 艾典

治也先非ヲ ○ 虛已 ○ 稱首

昌泰 ○ 延喜 ○ 延長

交代 朱雀天皇

寬明 ○ 母 藤原經公ノ四女 ○ 近衛 左右近 ○ 衛門 左

也 ○ 巡捕 ○ 仲平 基經ノ第三子 ○ 符 太政官

禮也 ○ 警也 ○ 矢紫宸殿版位 廣韻曰屎本作

群臣并百官列位之版也トアリ ○ 占 ○ 兵革

豫 ○颶風 ○雞雛 ○兵庫允 ○相安

○平將門 ○大椽 ○國香 ○良兼 ○

擾 ○猖獗 ○高望 ○良持 ○勇悍

○憤恚 ○攻剽 ○王建 ○淑人 ○賊帥 ○

氏寬 ○秋茂 ○田疇 ○長谷雄 ○恒佐 ○

內膳司 ○禁中御膳ガ、 ○頽 ○竟 ○土御門右

大臣 ○鴨河溢 ○壞 ○丈許 ○却還 ○倅

囚 ○維幾 ○清夏 ○興世王 ○傾險 ○

○幸亂 ○恊心計畫 ○掠取 ○奪

○坂東 ○開八州 ○窺時機 ○弘雅

春茂 ○尚範 ○遠經 ○猿島 ○署置百

官 ○抄掠 ○騷然 ○下見 ○覬覦 ○騷擾 ○

子高 ○風 ○震駭 ○忠舒 ○追捕使

○維幹 ○好古 ○忠文 ○枝良 ○募 ○

建殊功 ○不次 ○課 ○

貞盛サダモリ ○ 潛匿セントク ○ 駐軍トブルグニラ ○ 無虞ナシ ○ 秀鄉ヒデサト ○ 襲オソフ ○ 蒼黃ソウワウ ○

散遣サンケン ○ 偵テイ ○ 押領使オシリヤウシ ○ 誘致ユウチ ○ 險隘ケンアイ ○ 島廣シマヒロ

急遽クツジュ 見アハ ○ 距マツ ○ 度ハカル ○ 誘ユウ ○ 險隘ケンアイ ○ 島廣シマヒロ

山ヤマ ○ 縱ハナツ ○ 營エイ ○ 自衛ジエイ ○ 距戰キコ 甚力 ○ 爲憲タメノリ

督トク 也 ○ 單騎クニキ 一騎一騎ニ ○ 突陣ツクゲンラ ○ 斃タラス ○ 黨與トウウヨ

同類 ○ 村雄ムラヲ ○ 工藤クドウ ○ 梳髮クシケツルカミヲ ○ 遽ニハカ ○ 不遠タシトシ

○ 饌至セニイタル 饌饌 饗饗 ○ 下筋飯クダスハシヲ 逆落ハニハワラクス ○ 拂拭フツツ ○ 輕ケイ

躁ソウ 口カ 口口 シシ クク テテ 心心 ガ ○ 無量ナシリヤウ 量キリヤウ ○ 煽起センキ ○ 不フ

悛クニ ○ 狂悖クワクワイ ○ 侵掠シンリヤク ○ 經基ツネモト ○ 慶幸ケイキ ○ 判官ハンクワン

○ 左衛門志サエモンシ ○ 春實ハルサネ ○ 主典シュデン ○ 戰艦センカン ○ 恒ツネ

利トシ ○ 國風クニカザ ○ 徑タビ ○ 備ツボ ○ 險夷ケンイ ○ 巢窟ノウクツ ○ 鄉キヤウ

導ダウ ○ 劫掠キョクリヤク ○ 精銳セイエイ ○ 博多津ハクタク ○ 裸祖ヌラソ ○ 被ヒ

髮ヘ ○ 短兵タンヘイ 兵器也 ○ 遠方トホカケ ○ 潰ツイ ○ 警固使ケイコシ ○

遠保トホヤス ○ 賊魁ゾクケイ ○ 桑原サハラ 生行ナリツラ ○ 褒典ホウテン ○ 實賴サネヨリ

忠平チウヘイ ○ 師輔シボ 忠平ノ子 ○ 經日ケイニチ 虞書曰罪疑惟ホウ ○ 實賴サネヨリ

命メイ 傳デン 艾重アイジュウ 言曰衛命イハレタマフ 征行 ○ 舍ツク ○ 寢ヤム 息 ○ 罷ヤム 休也

第 36107 号
 平成 3.11.22
 聖 和 学 大 館
 聖 園 短 書 圖
 210.1
 コ
 上

○ 嚴急 ビシキ 政事 シ ○ 承平 ○ 天慶

1 政如張琴瑟大絃急則小絃絶 漢章帝

襪 災答 ○ 尚 ○ 過寬寬大 ○ 從 舒緩

○ 星變 天文 ○ 司天 天文 ○ 咎 咎

三品 ○ 皇太弟傅 ○ 資性 ○ 温籍 才名

○ 賀茂社 山城國 ○ 賽賊 平賊 ○ 御礼 マツリ

○ 石清水臨時祭 三月 ○ 行幸

○ 秀才 文章生 ○ 明經 經學 ○ 及第 儒生

藝

粟

音

精

其

老

刊

七